

令和 6 年度 栃木県こどもモニター
第 4 回アンケート結果
(中学生)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第4回アンケート期間

令和7年1月8日（水曜日）から2月7日（金曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

163 名

5. 第4回アンケート回答者数

134 名

6. 第4回アンケート回答率

82.2%

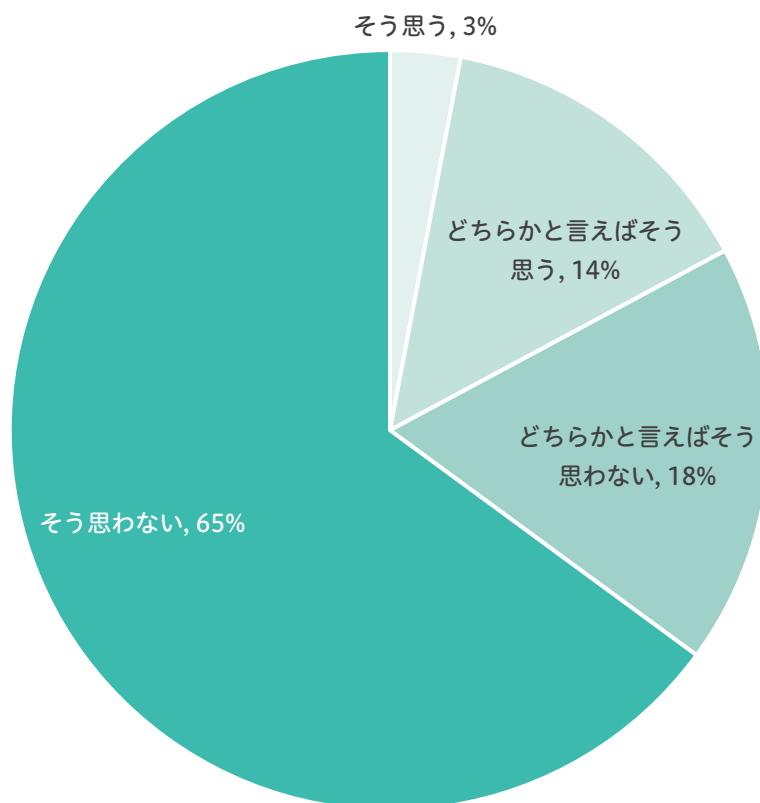
※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男の子	74	63	47.0%	85.1%
女の子	89	71	53.0%	79.8%
その他	0	0	0.0%	0.0%
合計	163	134	-	82.2%

学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
中学 1 年生	69	61	45.5%	88.4%
中学 2 年生	59	47	35.1%	79.7%
中学 3 年生	35	26	19.4%	74.3%
合計	163	134	-	82.2%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したものになります。
そのため、合計が 100.0%にならないものがあります。

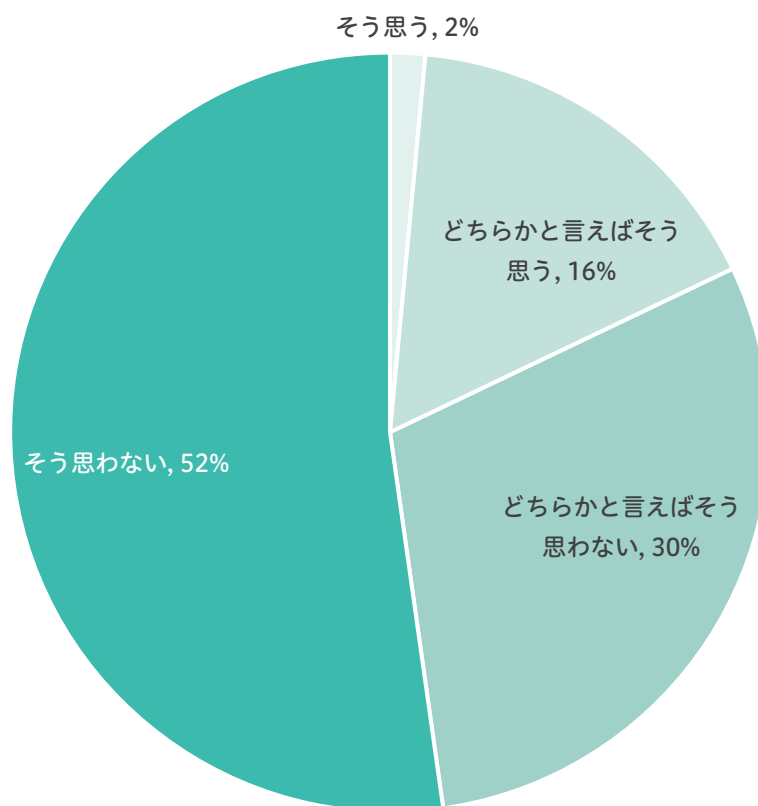
Q1.男性が夜遅くまで仕事をしたり、休みの日も仕事へ行くのは当たり前だと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(65%)と「どちらかと言えばそう思わない」(18%)を合わせると、8割以上の方が「男性が夜遅くまで仕事をしたり、休みの日も仕事へ行くのは当たり前だ」と思っていない結果となった。

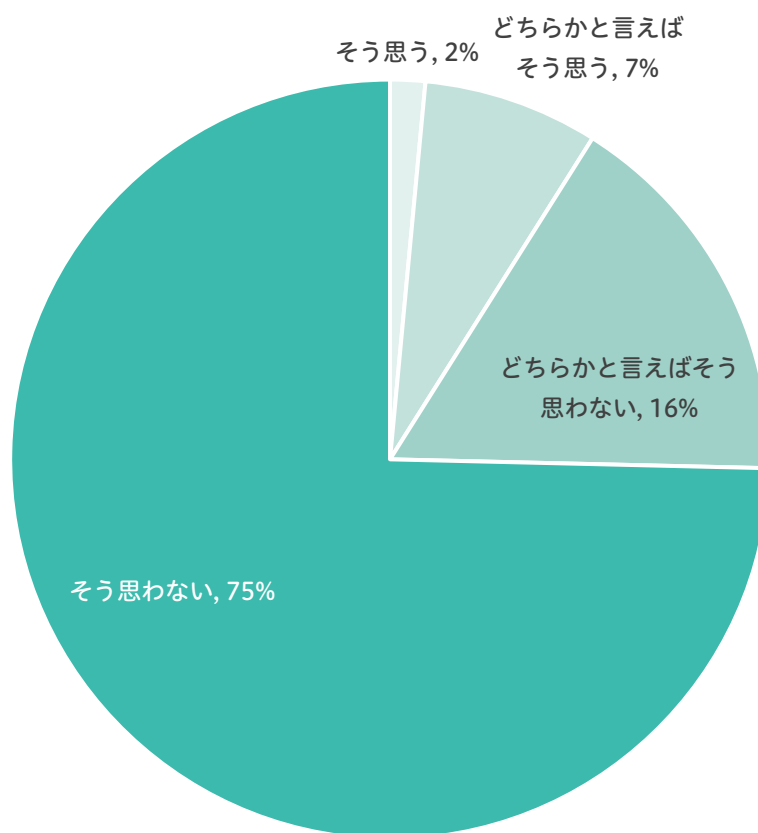
Q2.共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(52%)と「どちらかと言えばそう思わない」(30%)を合わせると8割ほどの人が、「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」と思っていない結果となった。

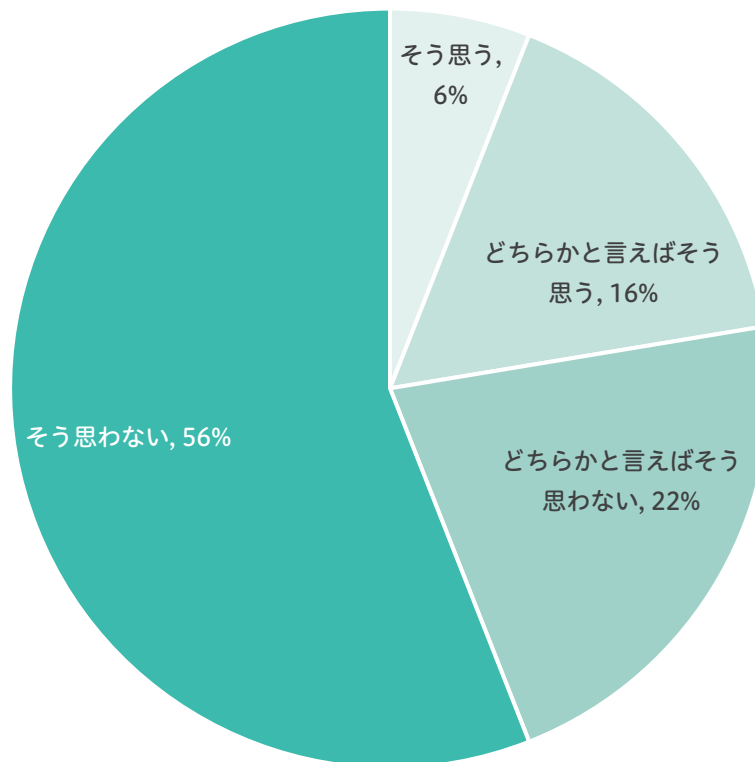
Q3.職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(75%)、「どちらかと言えばそう思わない」(16%)から、9割ほどの人が「職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ」と思っていない結果となった。

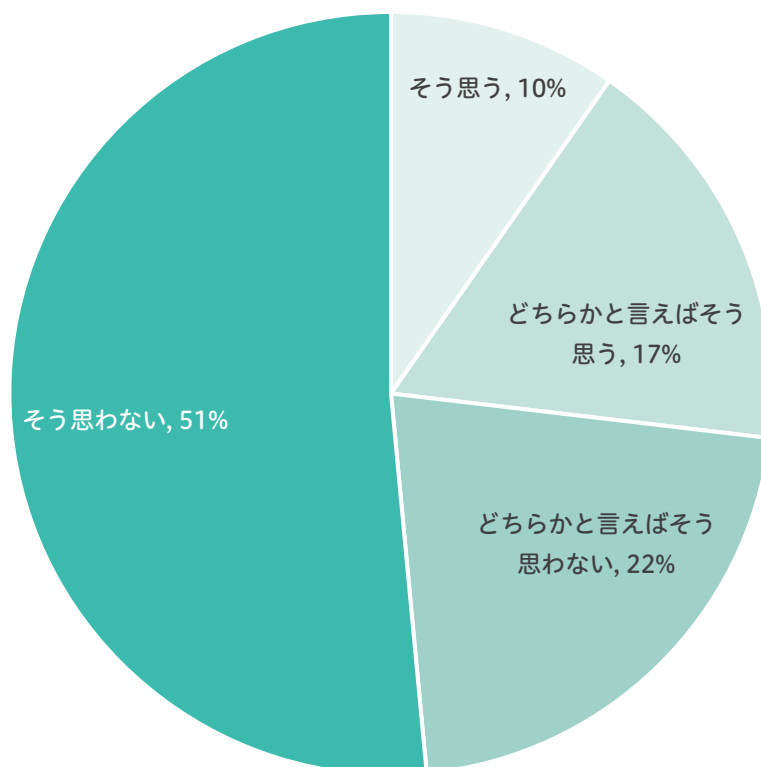
Q4.女性は結婚して家庭に入る方が良いと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(56%)、「どちらかと言えばそう思わない」(22%)から、7割以上の方が「女性は結婚して家庭に入る方が良い」と思っていない結果となった。

Q5.PTA には、女性が参加するべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(51%)、「どちらかと言えばそう思わない」(22%)から、7割ほどの人が「PTA には、女性が参加するべきだ」と思っていない結果となった。

Q6.県では、こどもたちの心と体の健やかな成長などの支援のための計画をたてています。この計画が作られる理由などを皆さんに伝えるための簡単なリーフレットの作成をしています。表紙のデザインは、どれが良いと思いますか。



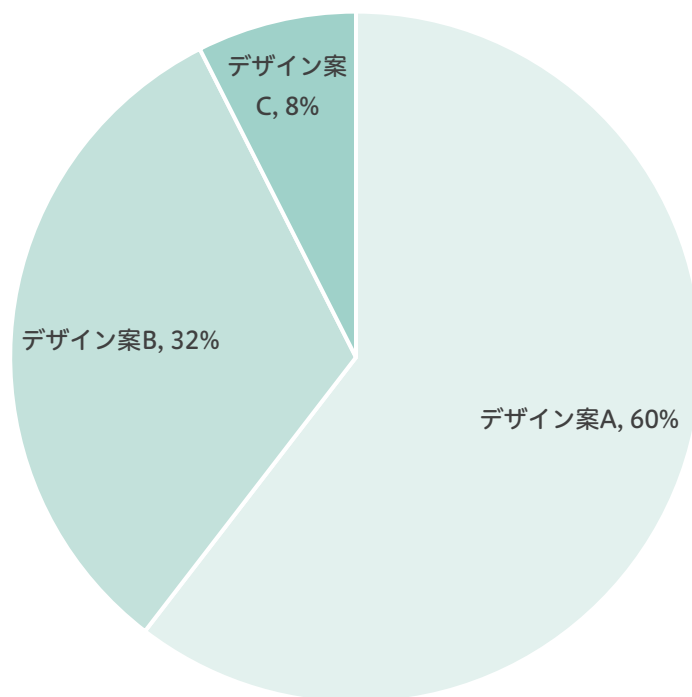
デザイン案A



デザイン案B



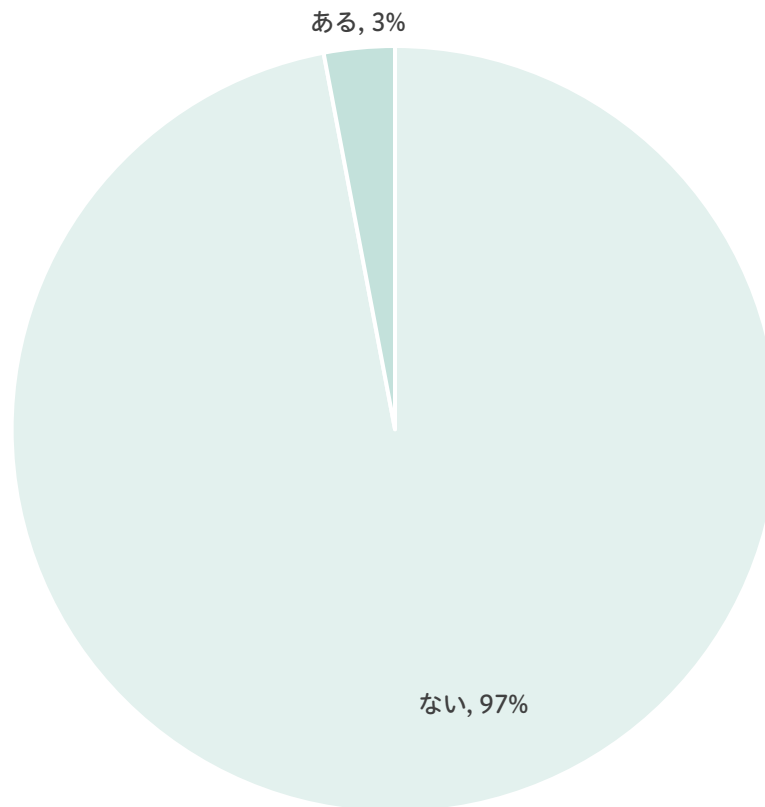
デザイン案C



【調査結果の概要】

「デザイン案 A」が 60%と最も多く、続いて「デザイン案 B」が 32%、「デザイン案 C」が 8%という結果となった。

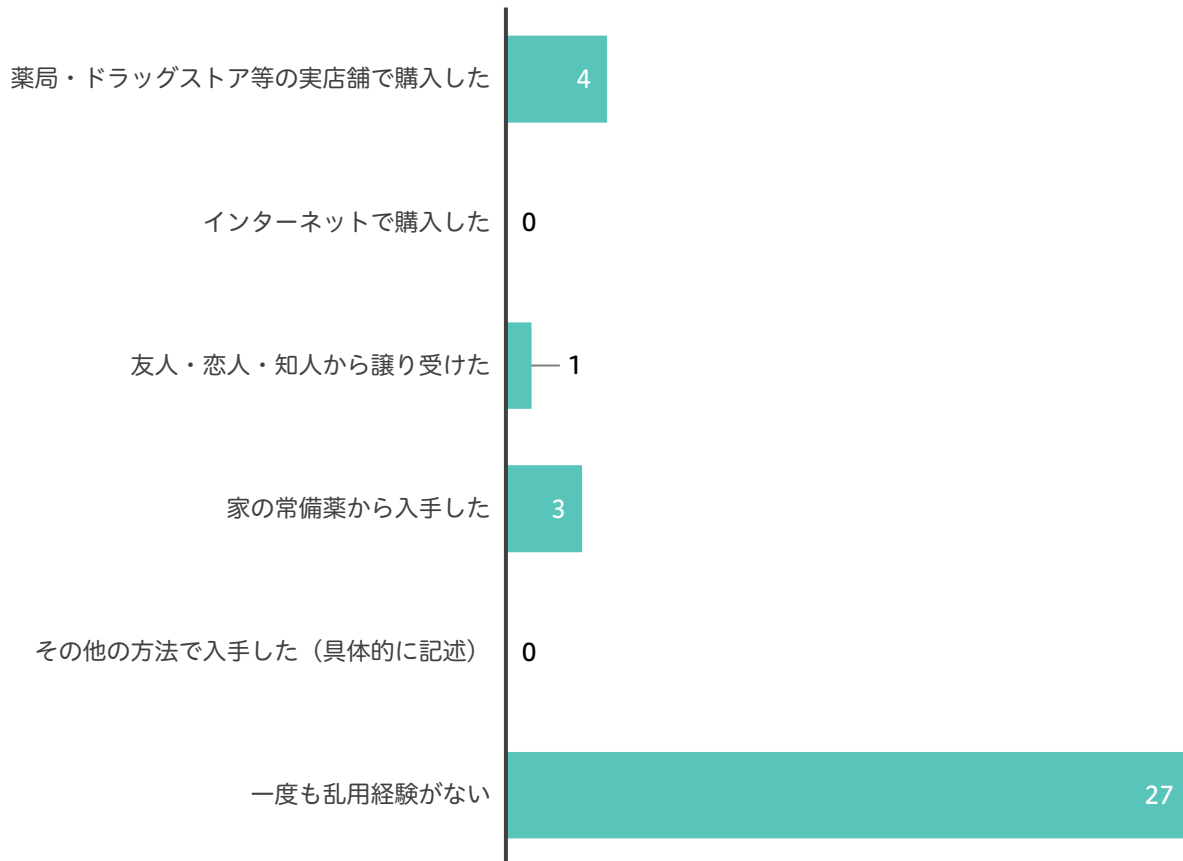
Q7.この1年間に、あなたは市販の咳止め薬、風邪薬、解熱鎮痛薬を乱用目的（治療目的ではなく）で使用した経験がありますか。ここでいう乱用目的とは、「ハイになるため、気分を変えるために決められた量や回数を超えて使用すること」と定義します。



【調査結果の概要】

「ない」が97%と大半を占めており、「ある」が3%という結果となった。

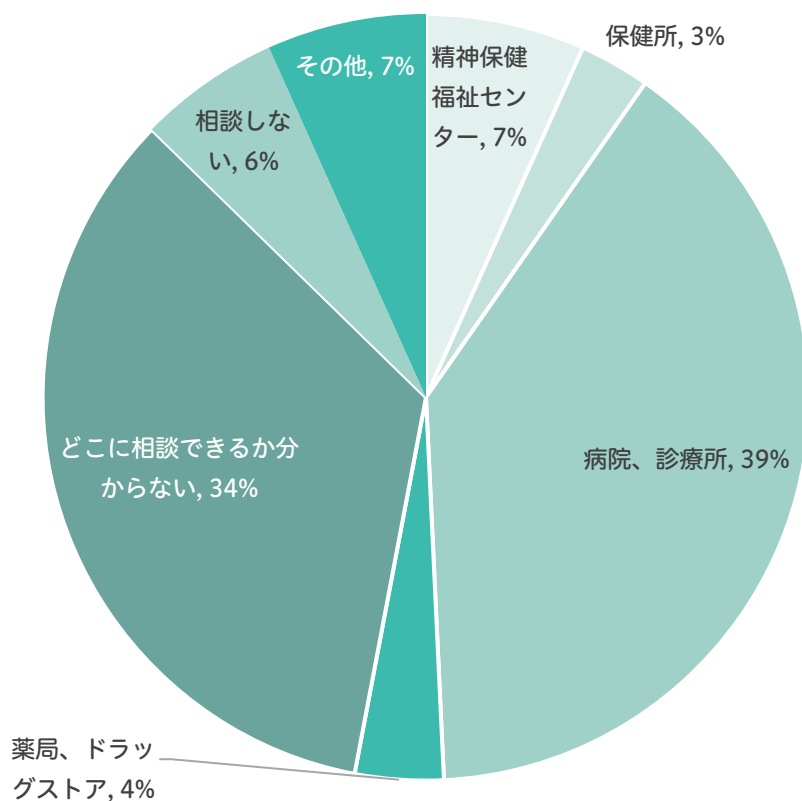
Q8.この1年間に、市販薬の乱用経験がある人のみお答えください（Q7で「ある」と回答した人）。乱用に用いた市販薬をどのように入手しましたか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。



【調査結果の概要】

「一度も乱用経験がない」（27件）が特に多く、以下に「薬局・ドラッグストア等の実店舗で購入した」（4件）、「家の常備薬から入手した」（3件）、「友人・恋人・知人から譲り受けた」（1件）と続いている。

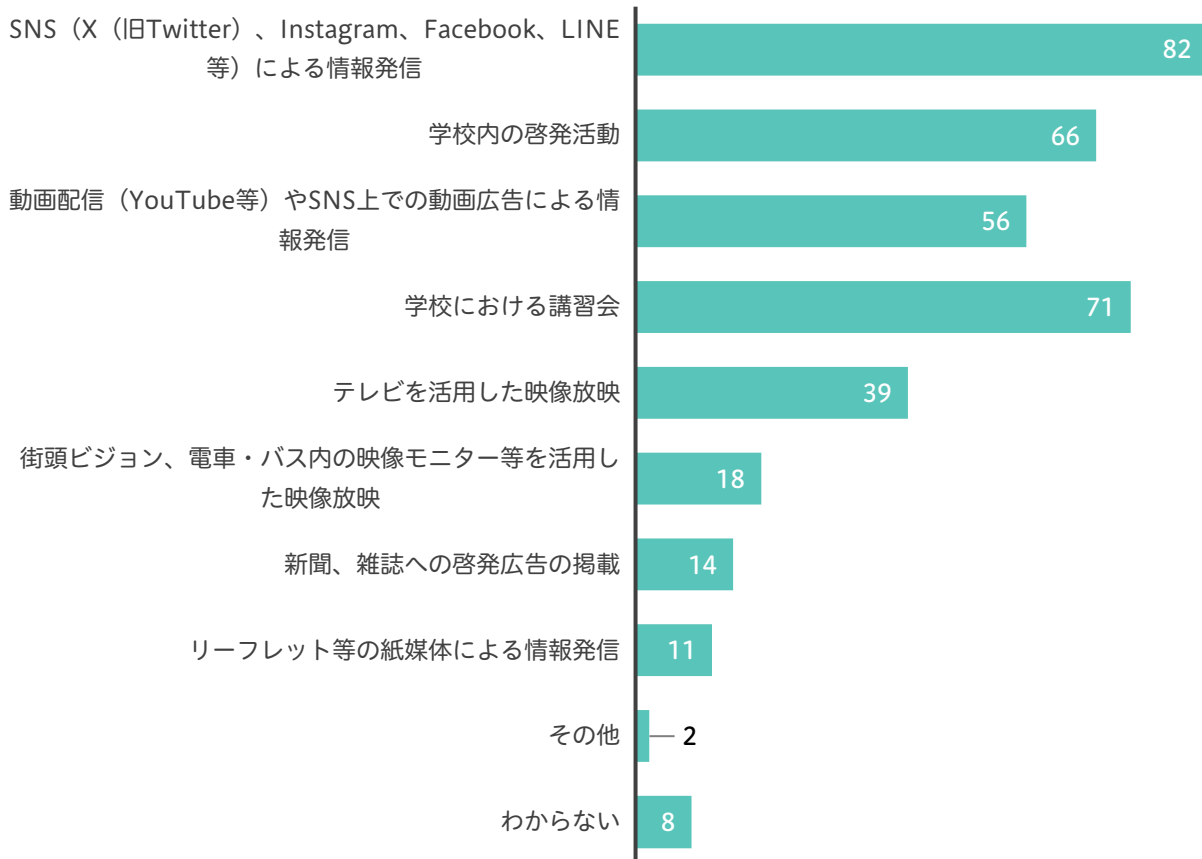
Q9.あなたは、自身または周囲の人が市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）に関する事で困った時、どこに相談しますか。次の中から1つ選んでください。



【調査結果の概要】

「病院、診療所」(39%)が最も多く、以下に「どこに相談できるかわからない」(34%)、「精神保健福祉センター」(7%)と「その他」(7%)が同数で続いている。

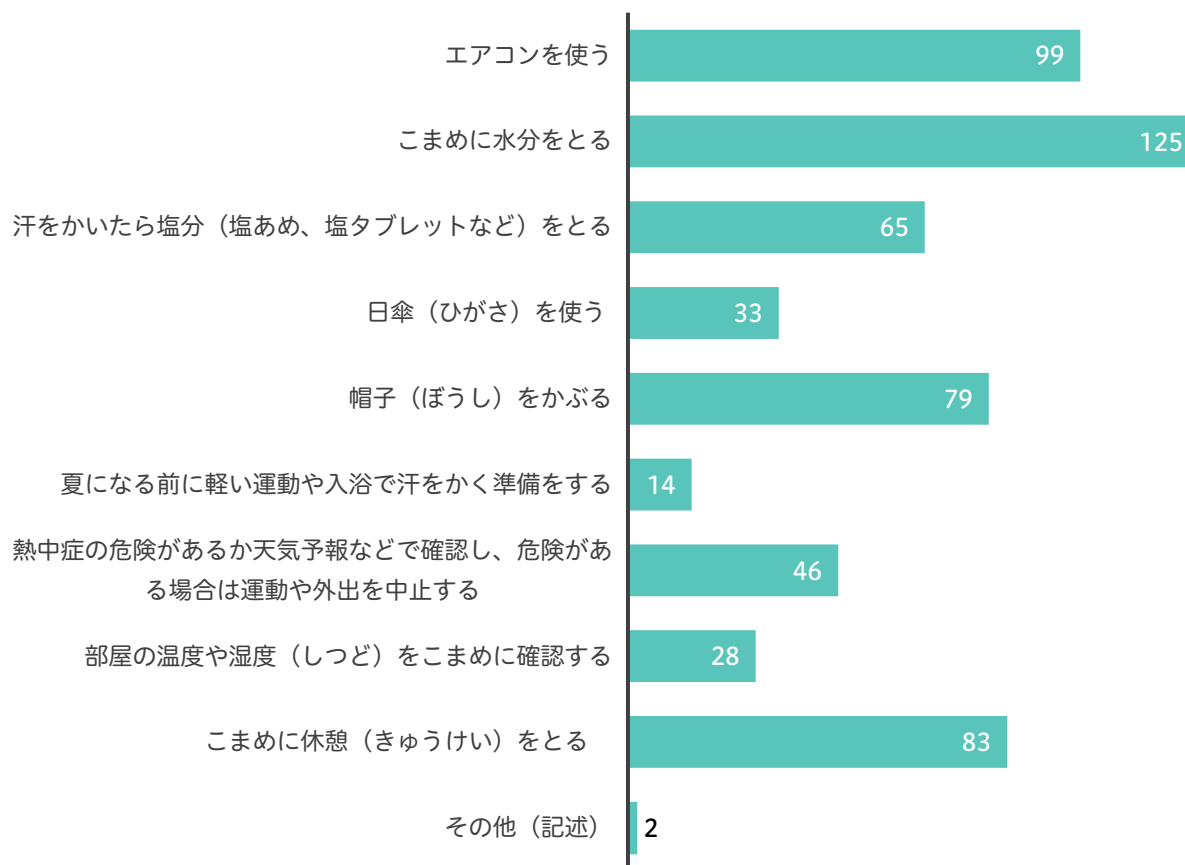
Q10.市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）に関する啓発活動について、若者の心に響き、印象に残る啓発をするには、どのような方法が効果的だと思いますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。



【調査結果の概要】

「SNS（X（旧Twitter）、Instagram、Facebook、LINE等）による情報発信」（82件）が最も多く、以下に「学校における講習会」（71件）、「学校内の啓発活動」（66件）、「動画配信（YouTube等）やSNS上での動画広告による情報発信」（56件）と続いている。

**Q11.あなたは熱中症予防のため、どのような対策を行っていますか。
【いくつでも選んでください】**



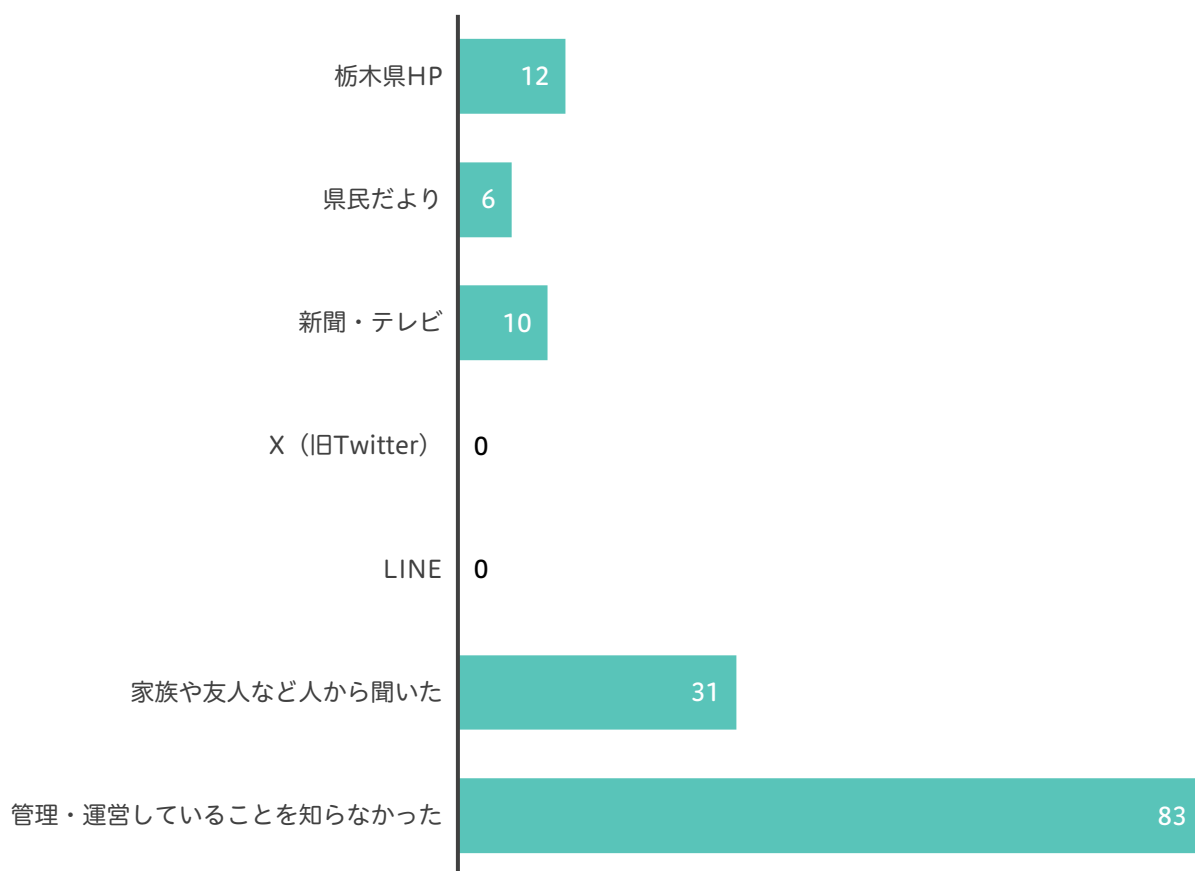
【調査結果の概要】

「こまめに水分をとる」（125 件）が最も多く、以下に「エアコンを使う」（99 件）、「こまめに休憩（きゅうけい）をとる」（83 件）、「帽子（ぼうし）をかぶる」（79 件）、と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ すわる
- ・ 水風呂

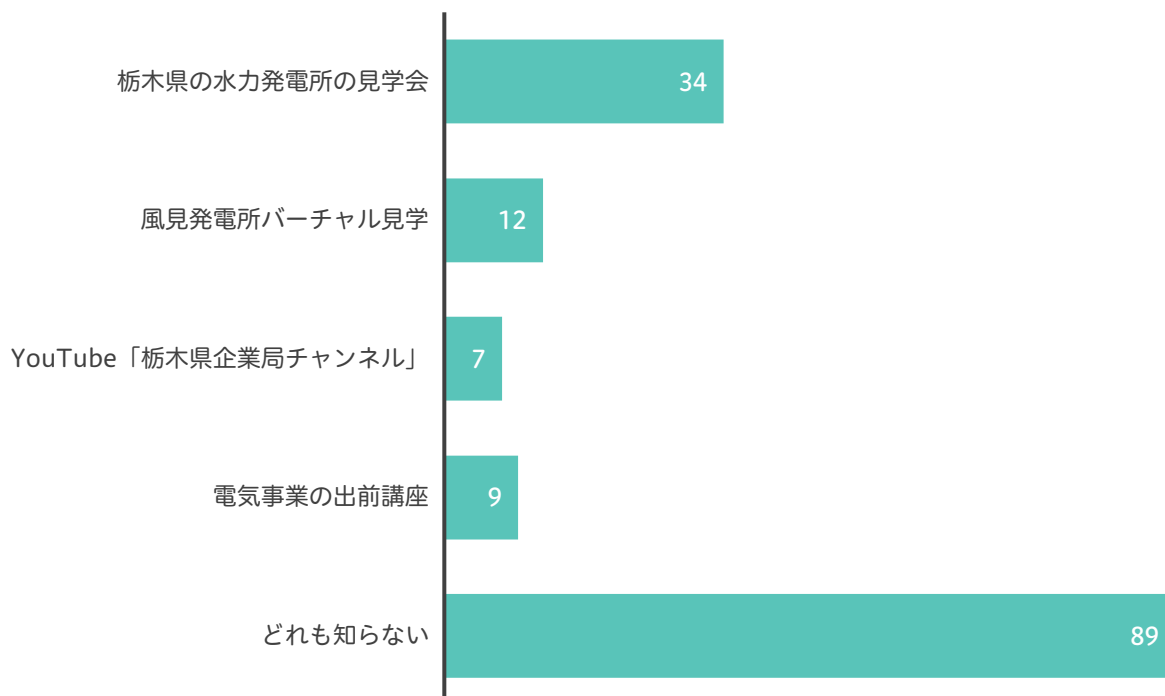
Q12.栃木県は水力発電所を管理・運営していますが、それをどこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「管理・運営していることを知らなかった」(83 件)が特に多く、以下に「家族や友人など人から聞いた」(31 件)、「栃木県 HP」(12 件)、「新聞・テレビ」(10 件)と続いている。

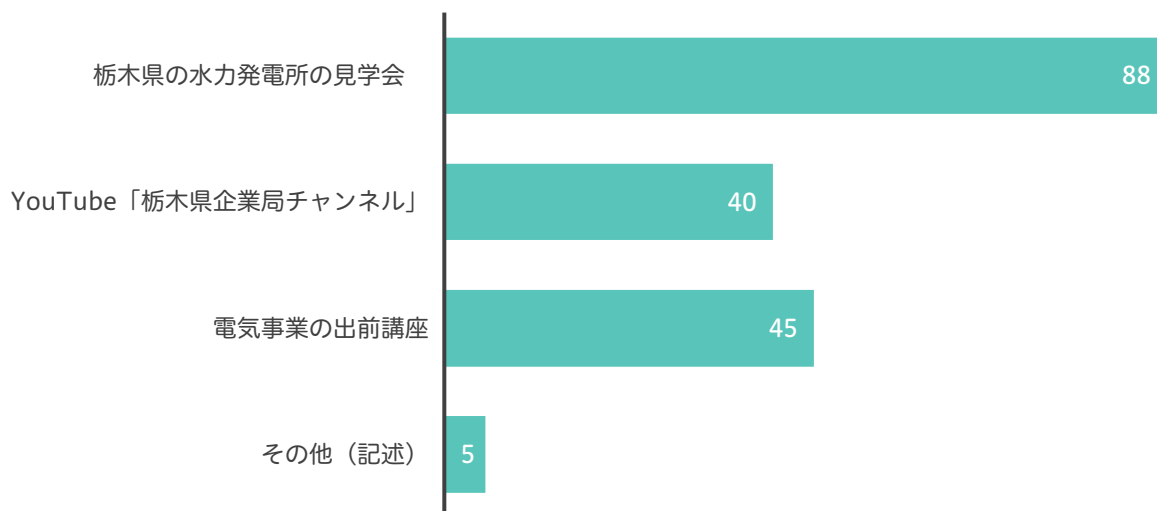
Q13.栃木県の水力発電所について皆さんに知ってもらうため活動を行っています。この中で知っている活動について教えてください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「どれも知らない」(89件)が特に多く、以下に「栃木県の水力発電所の見学会」(34件)、「風見発電所バーチャル見学」(12件)、「電気授業の出前講座」(9件)、と続いている。

Q14.栃木県の水力発電所を皆さんに知ってもらうための活動について、特に実施してほしいことは何ですか。【いくつでも選んでください】



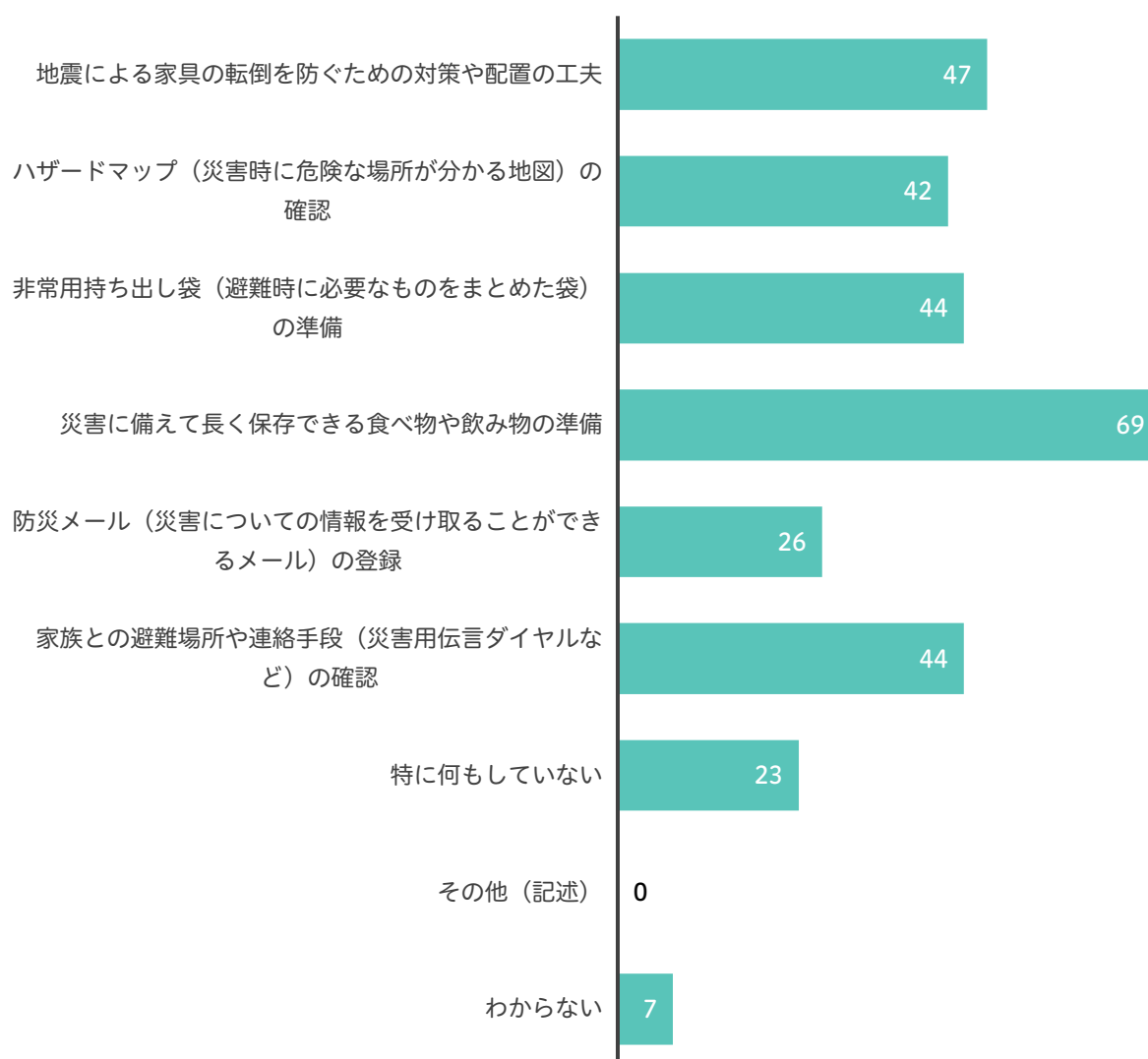
【調査結果の概要】

「栃木県の水力発電所の見学会」（88 件）が最も多く、以下に「電気事業の出前講座」（45 件）、「YouTube『栃木県企業局チャンネル』」（40 件）、と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 学校での講習会
- ・ youtube や web の広告栃木県出身の有名人の youtube チャンネルで紹介
- ・ ポスター
- ・ 特に実施してほしくありません

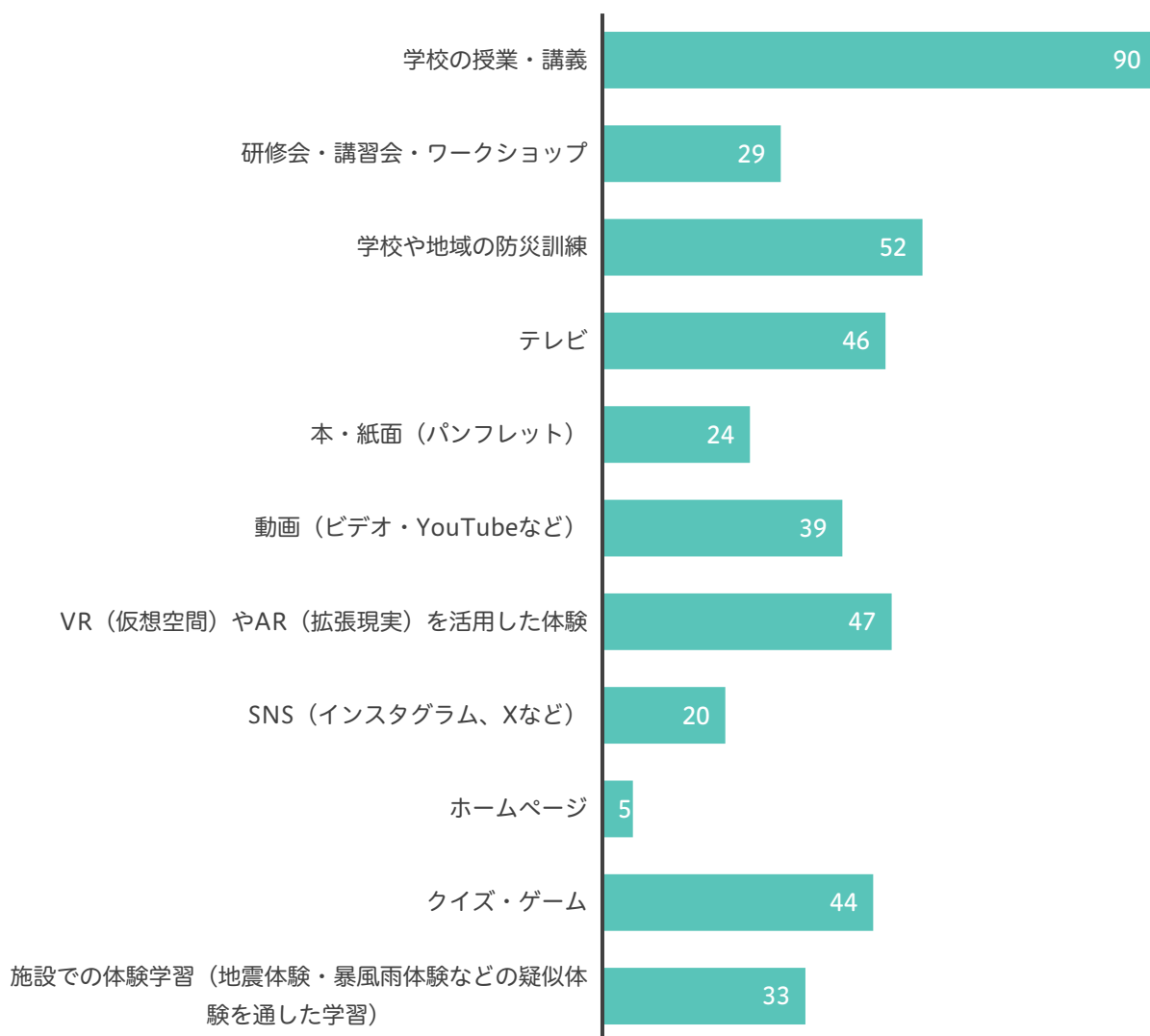
Q15.あなたは地震や大雨などの災害に対して、家族とどのような準備をしていますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「長く保存できる食べ物や飲み物の準備」（69件）が最も多く、次に「地震による家具の転倒を防ぐための対策や配置の工夫」（47件）が多く、以下に「非常用持ち出し袋（避難時に必要なものをまとめた袋）の準備」（44件）と「家族との避難場所や連絡手段（災害用伝言ダイヤルなど）の確認」（44件）が同数で続いている。

Q16.あなたは、防災について学ぶときにどんな学び方に興味を持ちますか。【いくつでも選んでください】

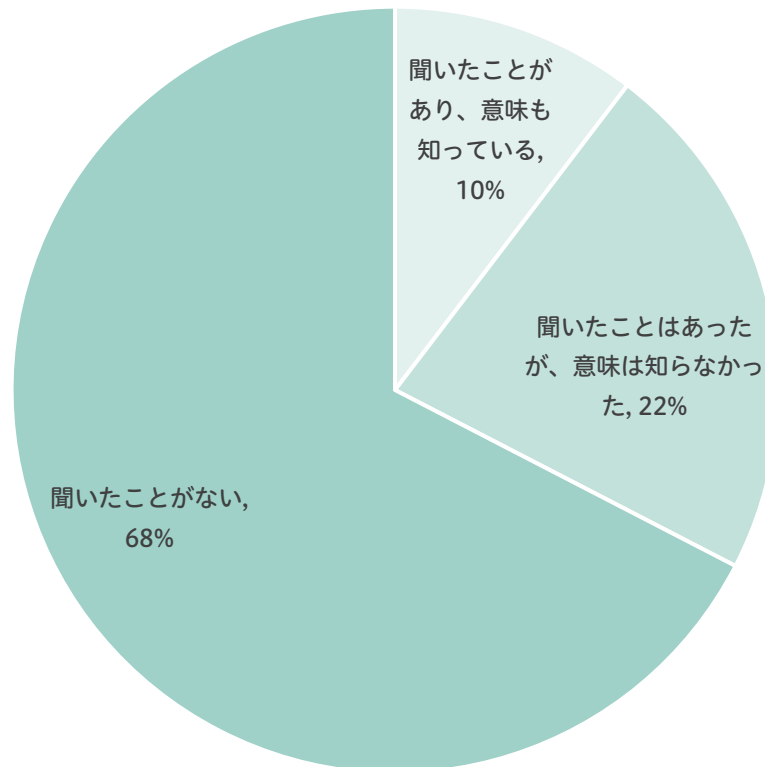


【調査結果の概要】

「学校の授業・講義」（90 件）が特に多く、続いて「学校や地域の防災訓練」（52 件）が多く、以下に「VR（仮想空間）や AR（拡張現実）を活用した体験」（47 件）、「テレビ」（46 件）が続いている。

Q17.近年、台風や大雨による災害が増えています。川やダムを管理する人たちだけでなく、流域（りゅういき）に住む全員で、水による災害を減らす取組を「流域治水（りゅういきちすい）」といいます。この言葉を聞いたことがありますか。

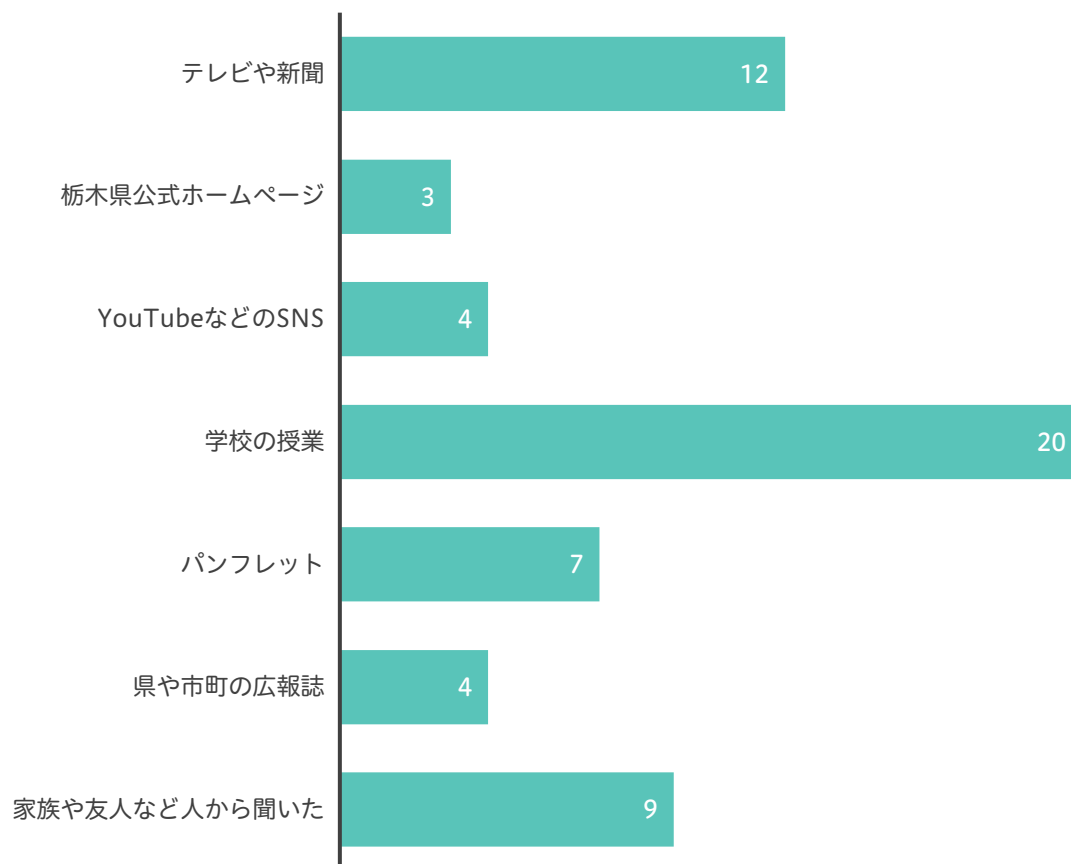
※「流域」とは、降った雨が小さな水路や川を通じて、大きな川に集まる範囲のこと。



【調査結果の概要】

「聞いたことがない」が68%と最も多く、続いて「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」が22%、「聞いたことがあり、意味も知っている」が10%という結果となった。

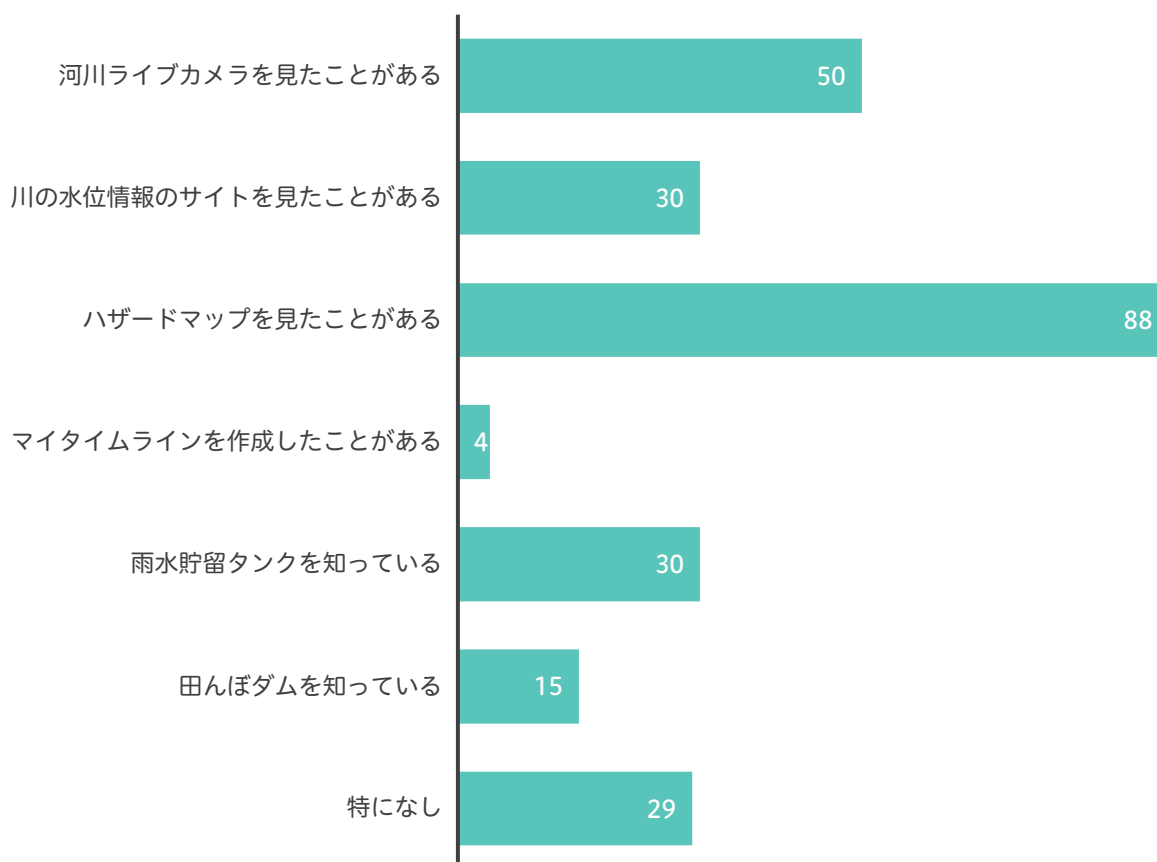
Q18.「Q17」で「聞いたことがあり、意味も知っている」または「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」と答えた人は、何で知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「学校の授業」(20 件)が最も多く、以下に「テレビや新聞」(12 件)が多く、以下に「パンフレット」(7 件)、「家族や友人などから聞いた」(9 件)が続いている。

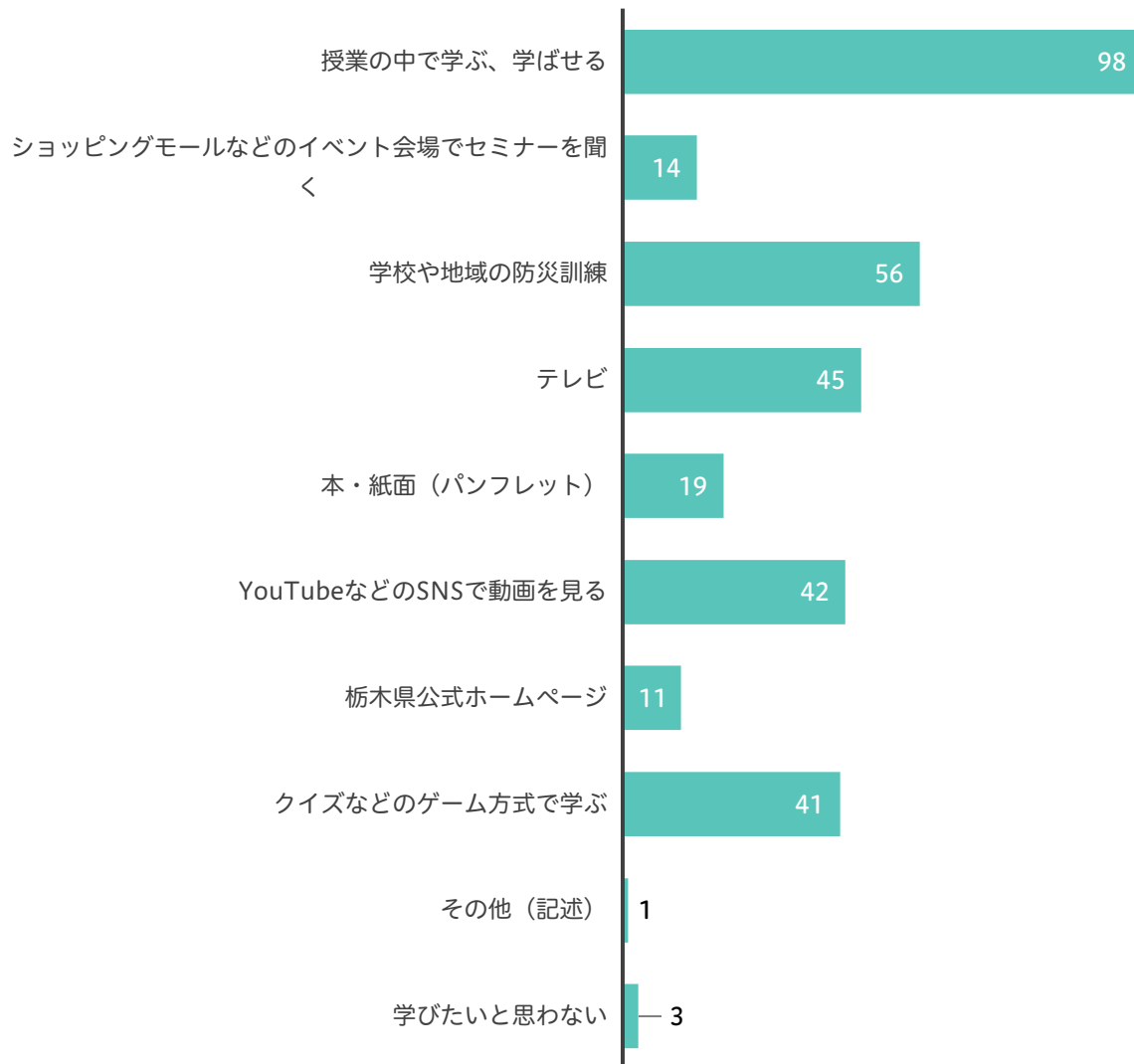
Q19.次の内容のうち、ご自身にあてはまるものはありますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「ハザードマップを見たことある」(88 件)が特に多く、次に「河川ライブカメラを見たことがある」(50 件)が多く、以下に「雨水貯留タンクを知っている」(30 件)と「川の水位情報のサイトを見たことがある」(30 件)が同数で続いている。

Q20.どんな方法であれば、流域治水について学ぶきっかけになると思いますか。【いくつでも選んでください】



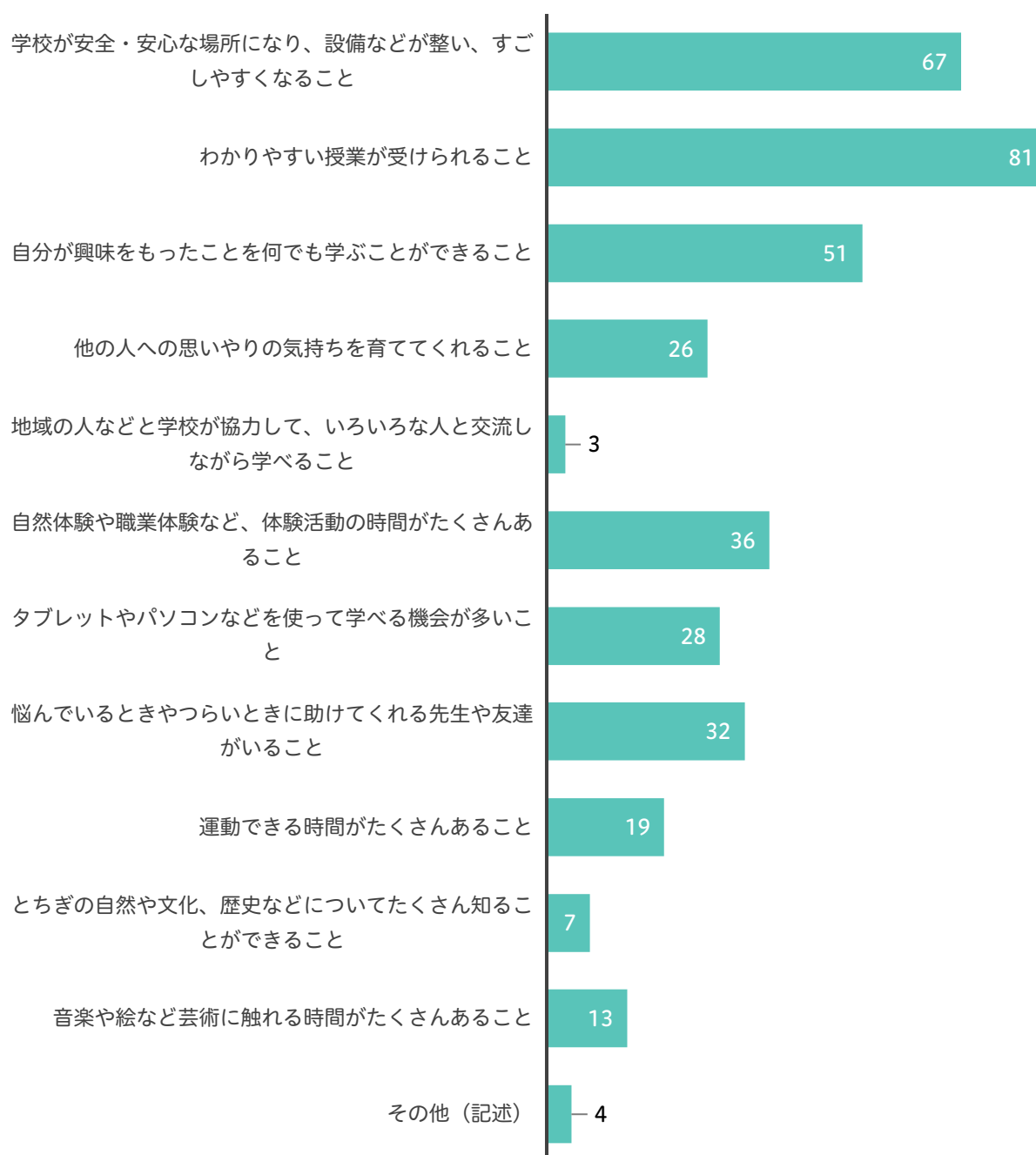
【調査結果の概要】

「授業の中で学ぶ、学ばせる」（98 件）が特に多く、以下に「学校や地域の防災訓練」（56 件）、「テレビ」（45 件）、「Youtube などの SNS で動画を見る」（42 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ VR で体験させる。

Q21.学校に対して、あなたが特に力を入れて欲しいと思うことは何ですか。【3 つまで選んでください】



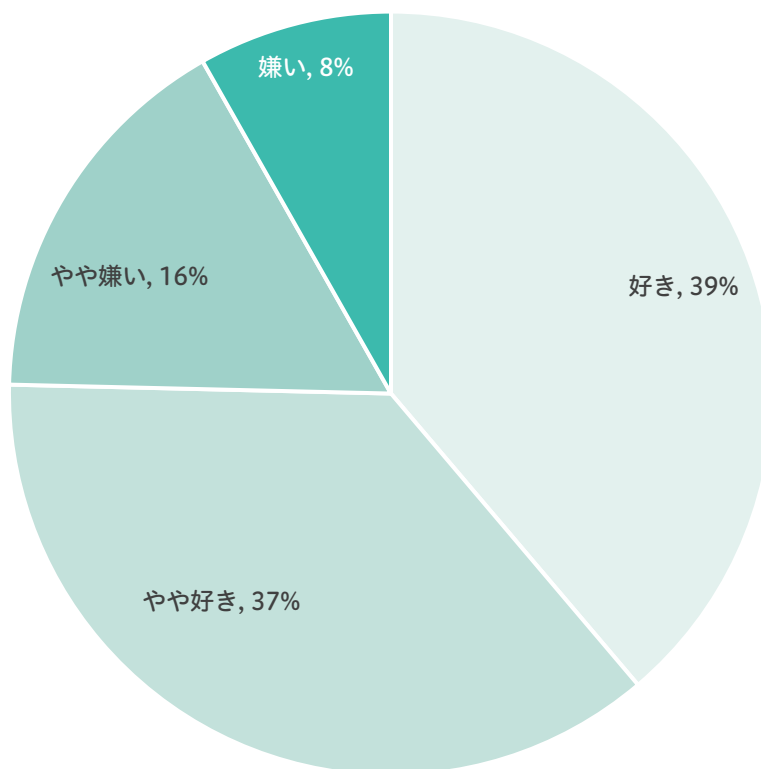
【調査結果の概要】

「わかりやすい授業が受けられること」（81 件）が最も多く、以下に「学校が安全・安心な場所になり、設備などが整い、すごしやすくなること」（67 件）、「自分が興味をもったことを何でも学ぶことができること」（51 件）、「自然体験や職業体験など、体験活動の時間がたくさんあること」（36 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- くつろげる場所があること
- 学校にほとんど行っていないし、期待もしていないのでわからない成績が悪いし勉強もわからないし、母が仕事でいつもいないのでわからない
- 給食がおいしいこと
- 自分のレベルにあった授業

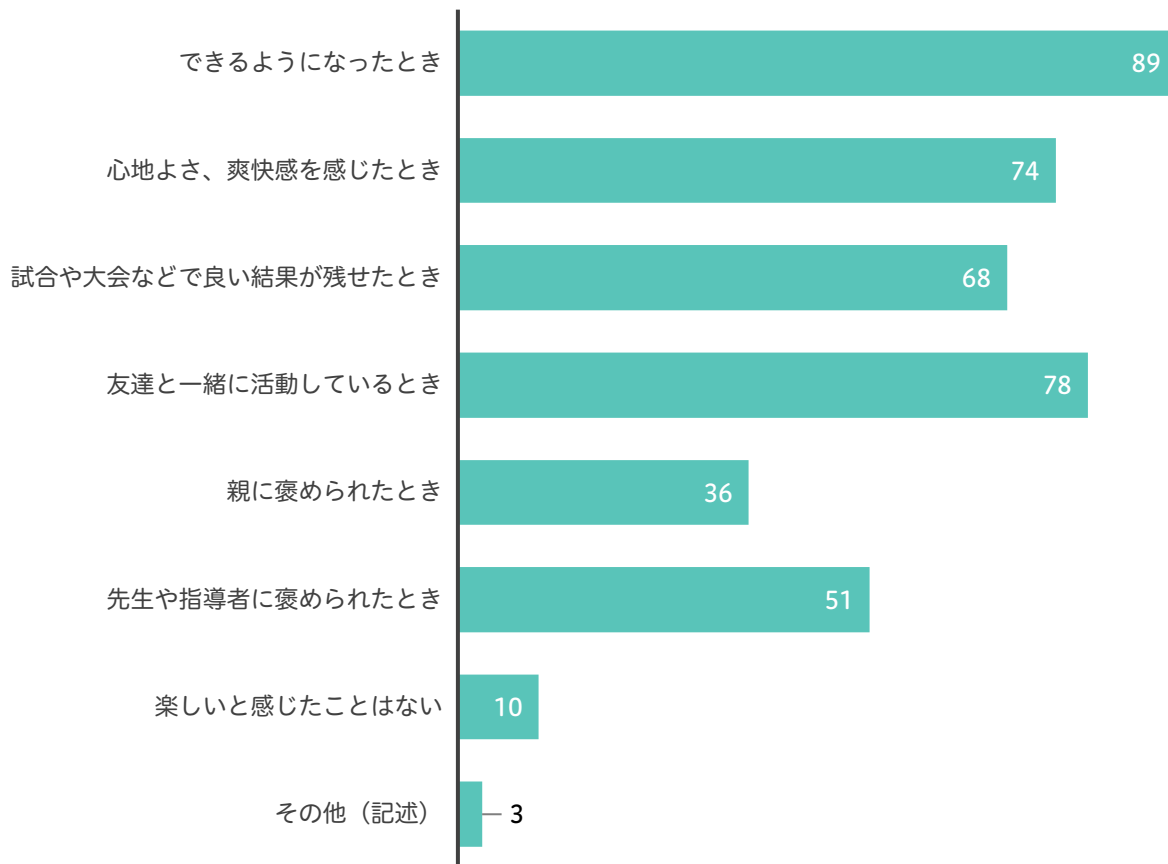
Q22.あなたは、運動やスポーツをすることが好きですか。



【調査結果の概要】

「好き」(39%)と「やや好き」(37%)がほぼ同じ割合で多く、続いて「やや嫌い」が16%、「嫌い」が8%という結果となっている。

Q23.あなたは、運動やスポーツをしていてどんなときが楽しいと感じますか。【いくつでも選んでください】



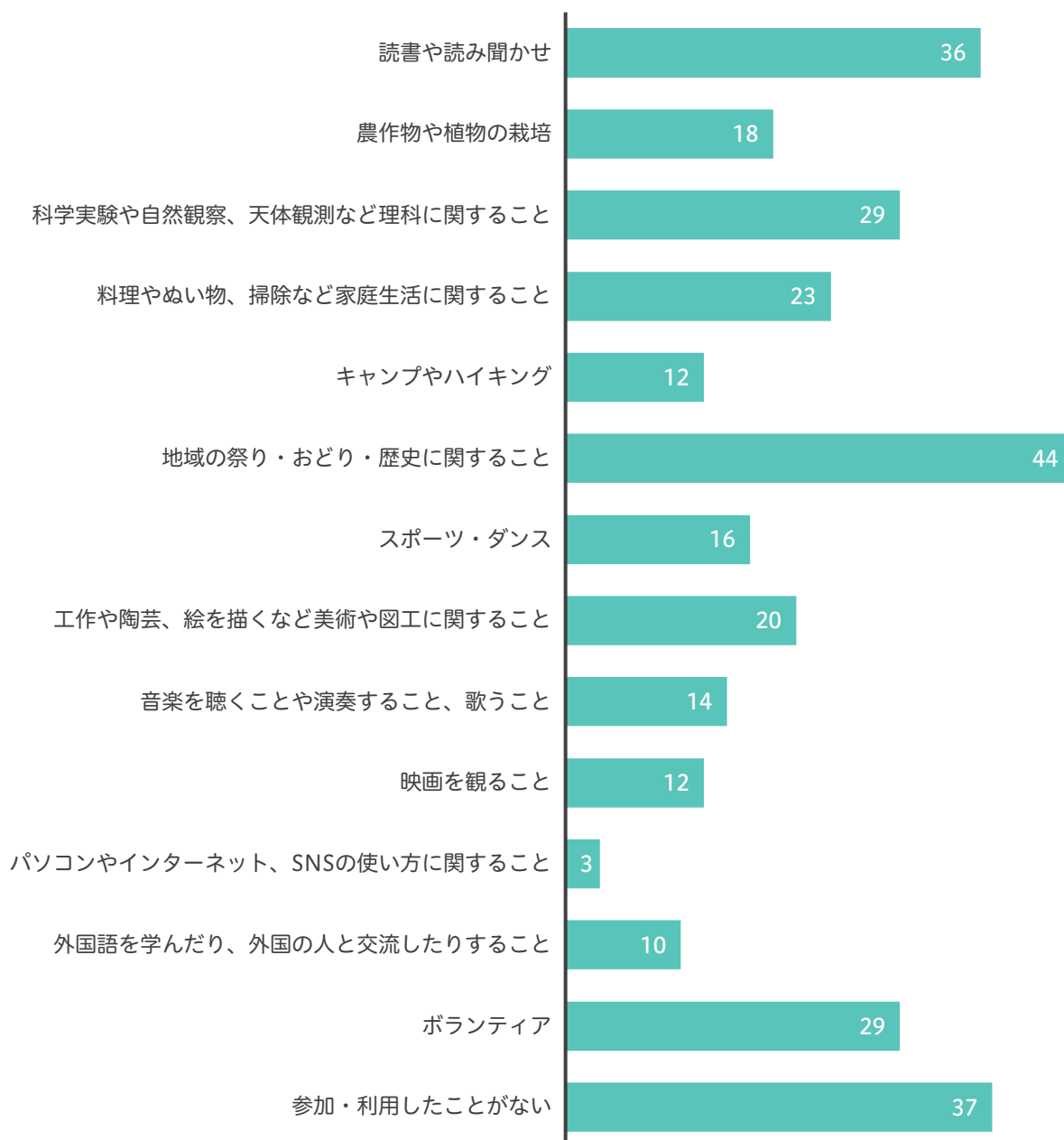
【調査結果の概要】

「できるようになったとき」(89 件)が最も多く、以下に「友達と一緒に活動しているとき」(78 件)、「心地よさ、爽快感を感じたとき」(74 件)、「試合や大会などで良い結果が残せたとき」(68 件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 没頭しているとき
- ・ サッカーをしている時はいつでも
- ・ 授業で人目置かれるとき（悪い意味ではない）

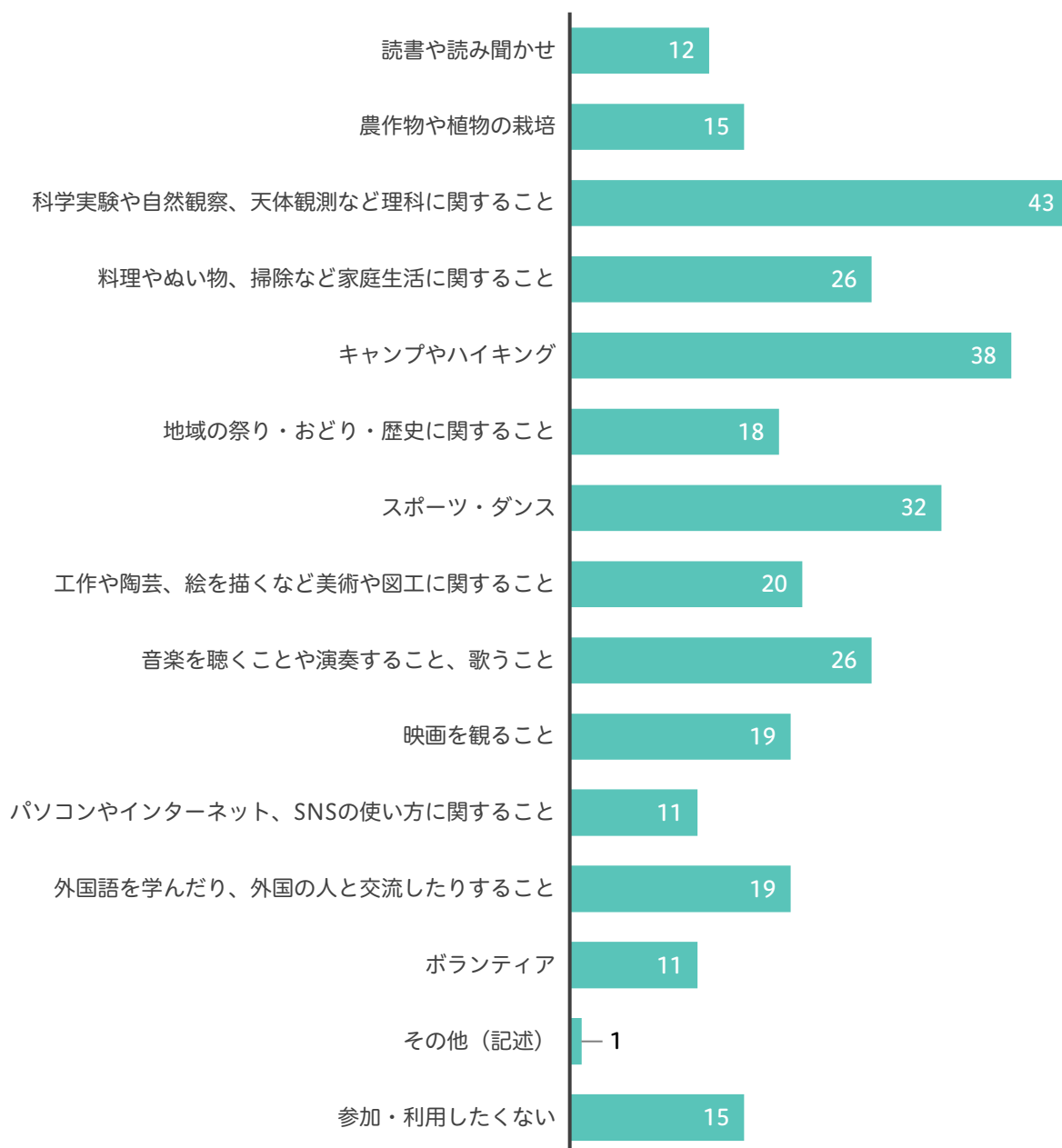
Q24.これまで、地域の公民館や生涯学習センターが実施している講座や教室などで、どのようなものに参加したことがありますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「地域の祭り・おどり・歴史に関すること」(44 件)が最も多く、以下に「参加・利用したことがない」(37 件)、「読書や読み聞かせ」(36 件)と続いている。

Q25.今後、地域の公民館や生涯学習センターが実施する講座や教室などで、どのようなものに参加してみたいですか。【3つまで選んでください】



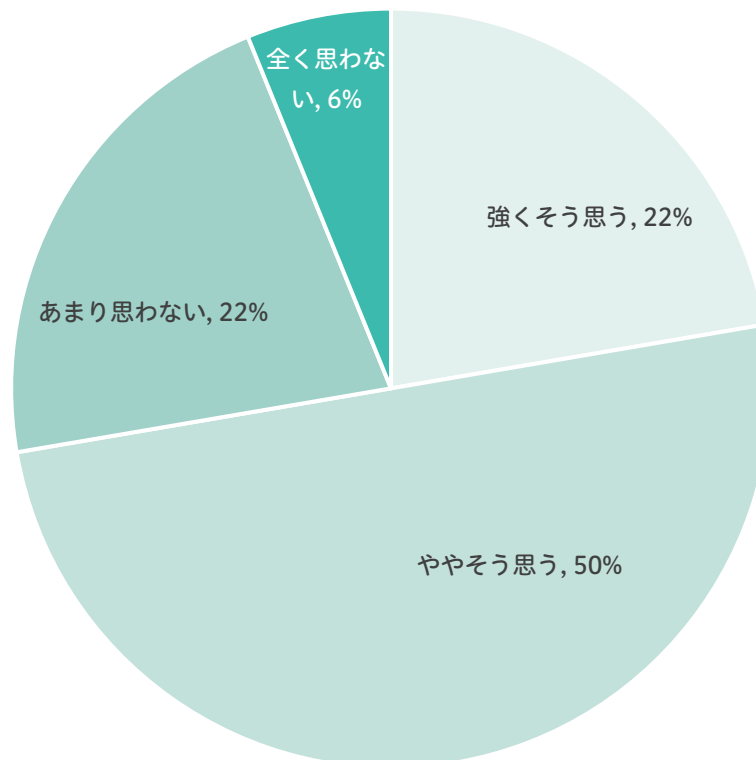
【調査結果の概要】

「科学実験や自然観察、天体観測など理科に関すること」（43 件）が最も多く、以下に「キャンプやハイキング」（38 件）、「スポーツ・ダンス」（32 件）、「料理やぬい物、掃除など家庭生活に関すること」（26 件）、「音楽を聴くことや演奏すること、歌うこと」（26 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 参加できない

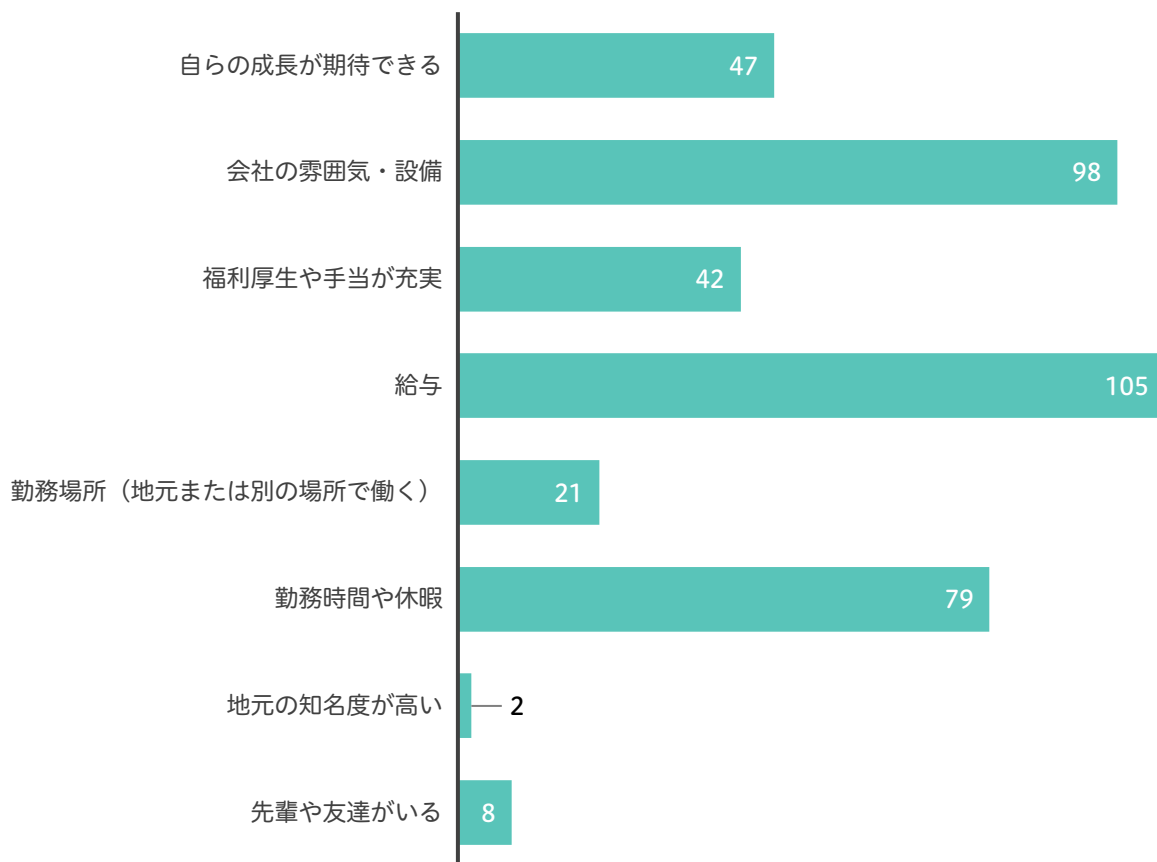
Q26.建設業、製造業、林業、農業などへの進路を考えるために、会社で実際に行う業務の内容、勤務時間、給料、資格取得など、業界ごとの実際の仕事を知りたいですか。



【調査結果の概要】

「ややそう思う」(50%)が半数を占めており、「強くそう思う」(22%)と「あまり思わない」(22%)が同数で続いている。

Q27.仕事をする上で、大切だと思うことを教えてください。【3つ選んでください】

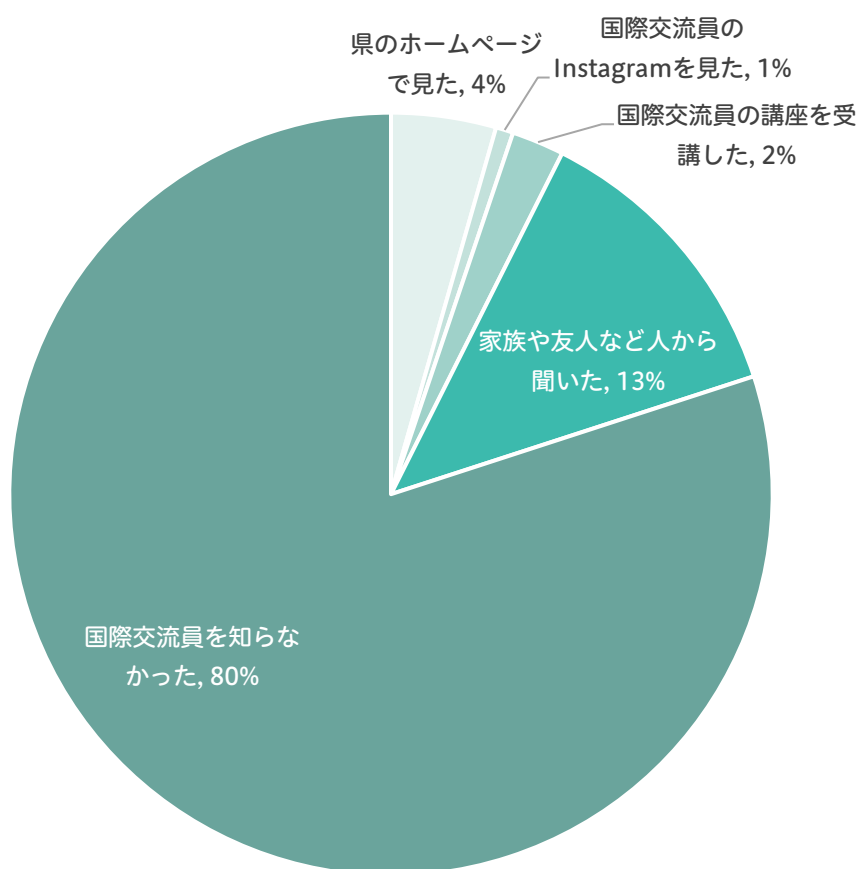


【調査結果の概要】

「給与」(105 件)が最も多く、以下に「会社の雰囲気・設備」(98 件)、「勤務時間や休暇」(79 件)、「自らの成長が期待できる」(47 件)と続いている。

Q28.国際交流員のことを、何で知りましたか？

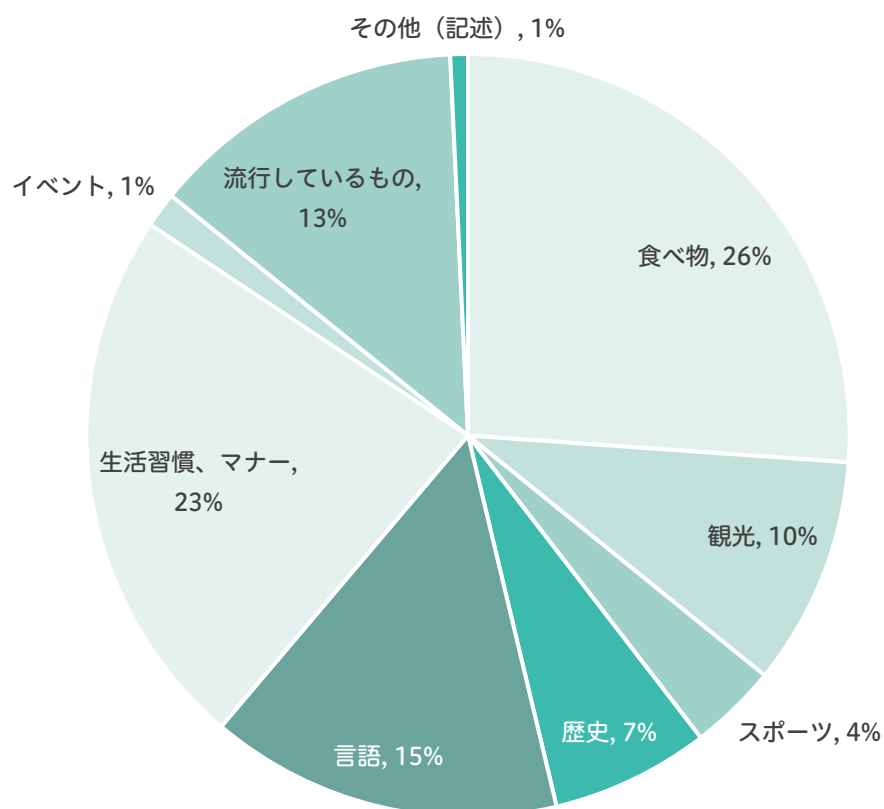
※国際交流員とは、通訳や翻訳、自国の文化紹介などで国際理解を深める活動をする外国人です。



【調査結果の概要】

「国際交流員を知らなかった」(80%)が特に多く、8割以上を占めており、以下に「家族や友人など人から聞いた」(13%)、「県のホームページで見た」(4%)と続いている。

Q29.栃木県にはアメリカ人と中国人の国際交流員が働いています。国際交流員から自国の文化紹介をしてもらうなら、何を教えてほしいですか？



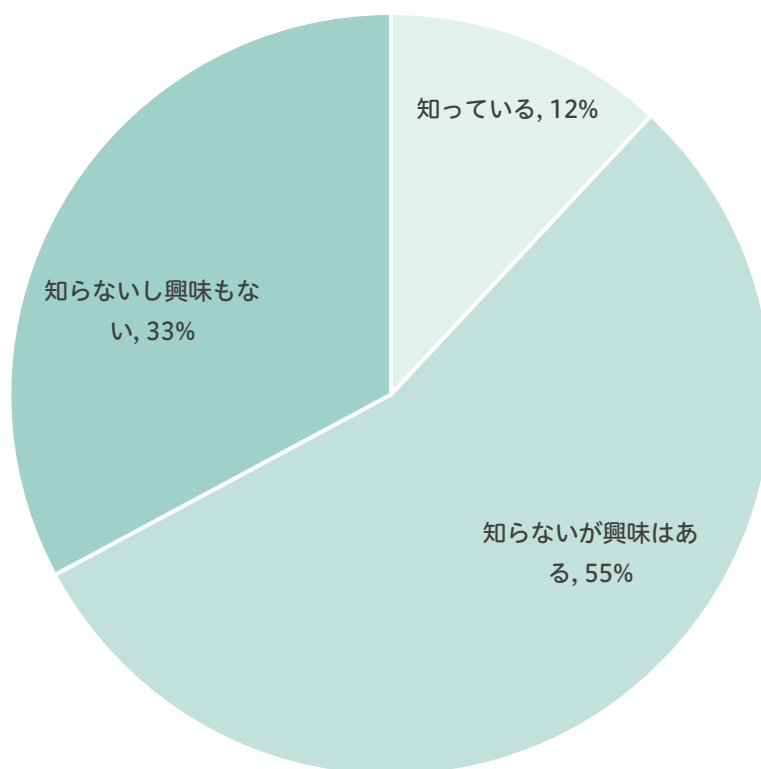
【調査結果の概要】

「食べ物」(26%)が最も多く、以下に「生活習慣、マナー」(23%)、「言語」(15%)、「流行しているもの」(13%)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 日本人の印象について聞きたい

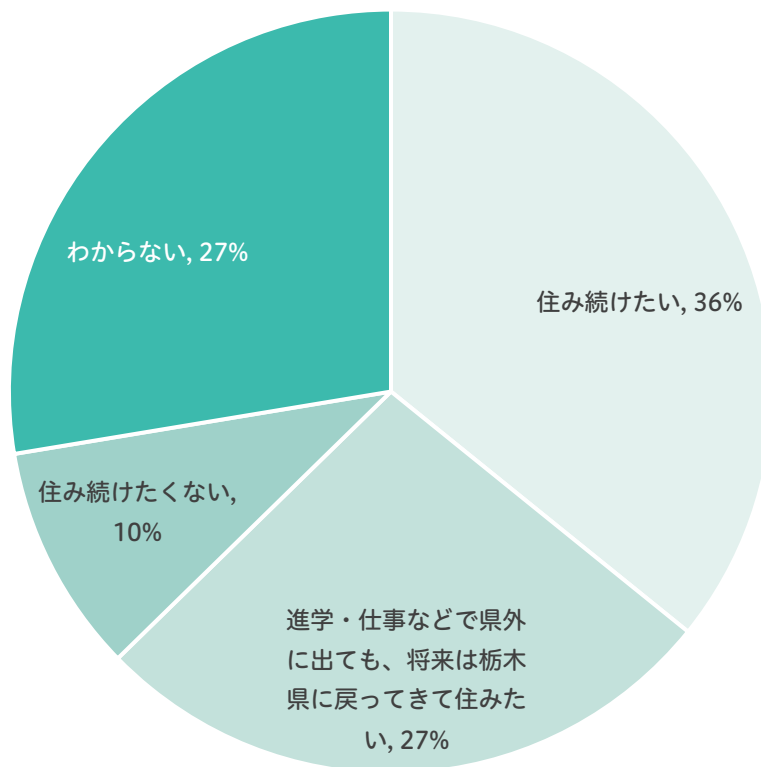
Q30.県では、今後の栃木県がより良くなるように、「とちぎ未来創造プラン」という計画を作っています。この計画を知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らないが興味はある」(55%)が最も多く、続いて「知らないし興味もない」(33%)、「知っている」(12%)という結果となった。

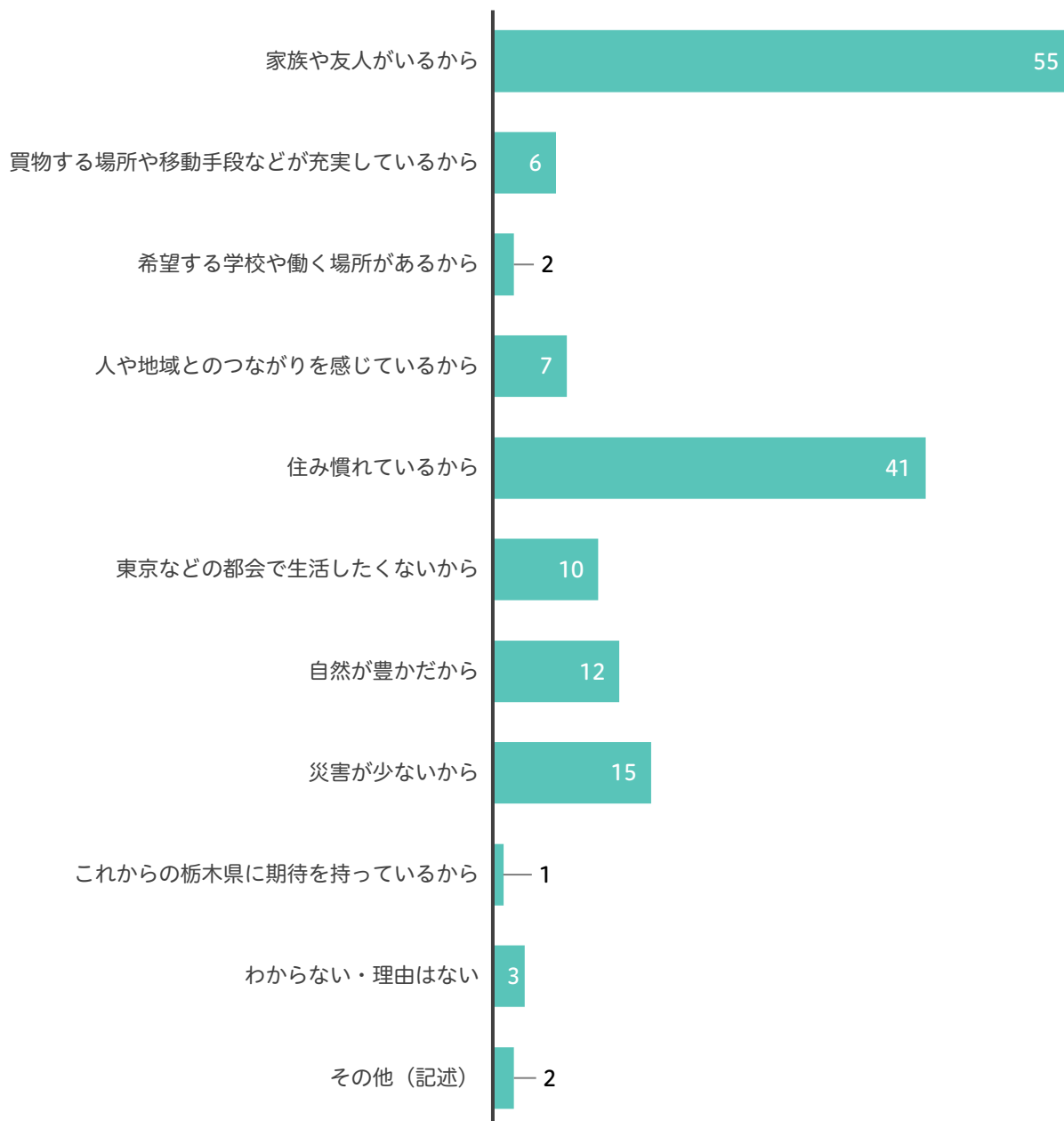
Q31.今後、栃木県に住み続けたいですか。



【調査結果の概要】

「住み続けたい」(36%)が最も多く、以下に「進学・仕事などで県外に出ても、将来は栃木県に戻ってきて住みたい」(27%)、「わからない」(27%)、「住み続けたくない」(10%)と続いている。

Q32.「Q31」で「住み続けたい」・「将来は栃木県に戻ってきて住みたい」と回答した方に聞きます。栃木県に住みたい理由は何ですか。【2つまで選んでください】



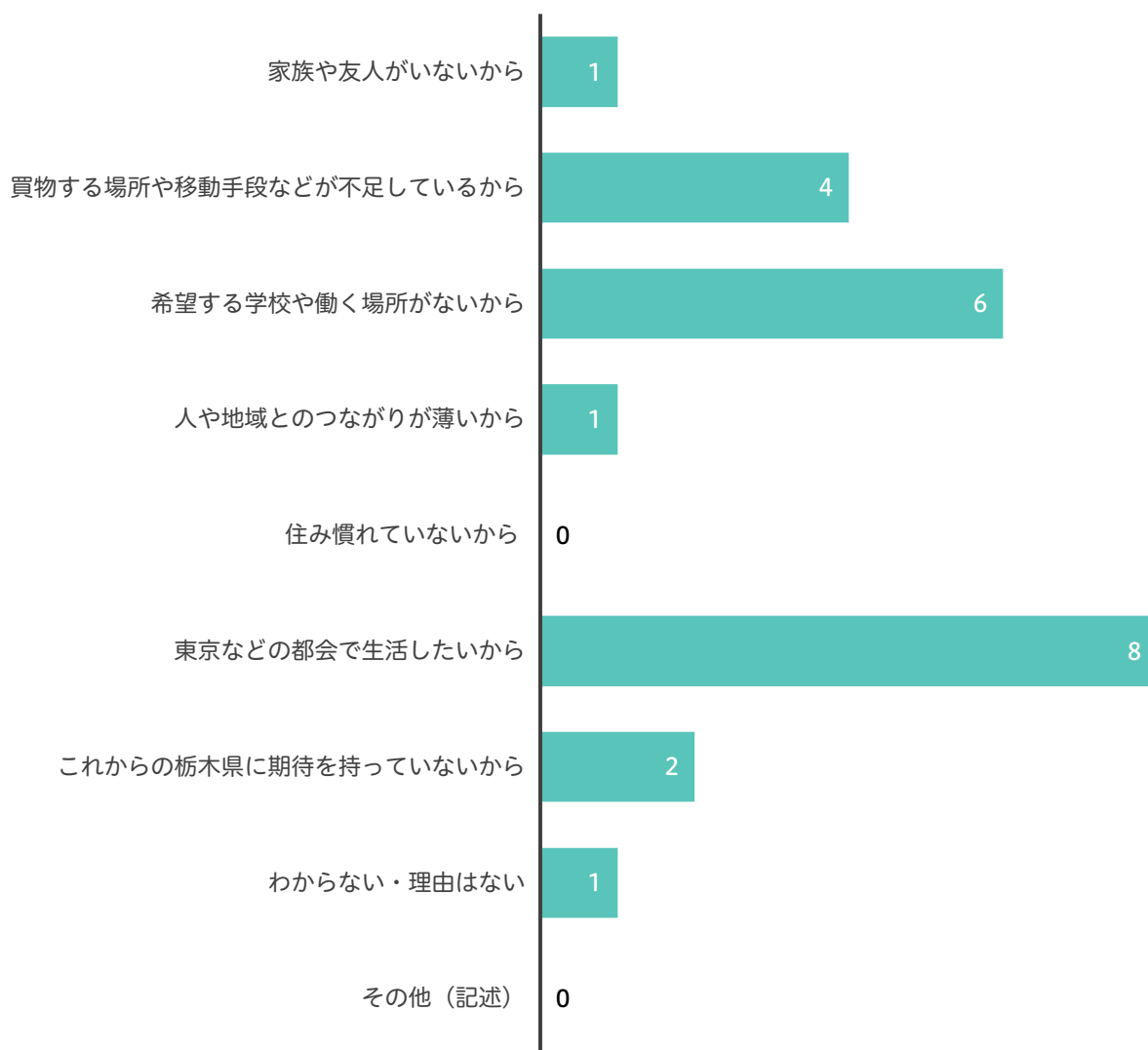
【調査結果の概要】

「家族や友人がいるから」（55 件）と「住み慣れているから」（41 件）がとくに多く、以下に「災害が少ないから」（15 件）、「自然が豊かだから」（12 件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 人が多すぎず少なすぎないから
- ・ 家があるから

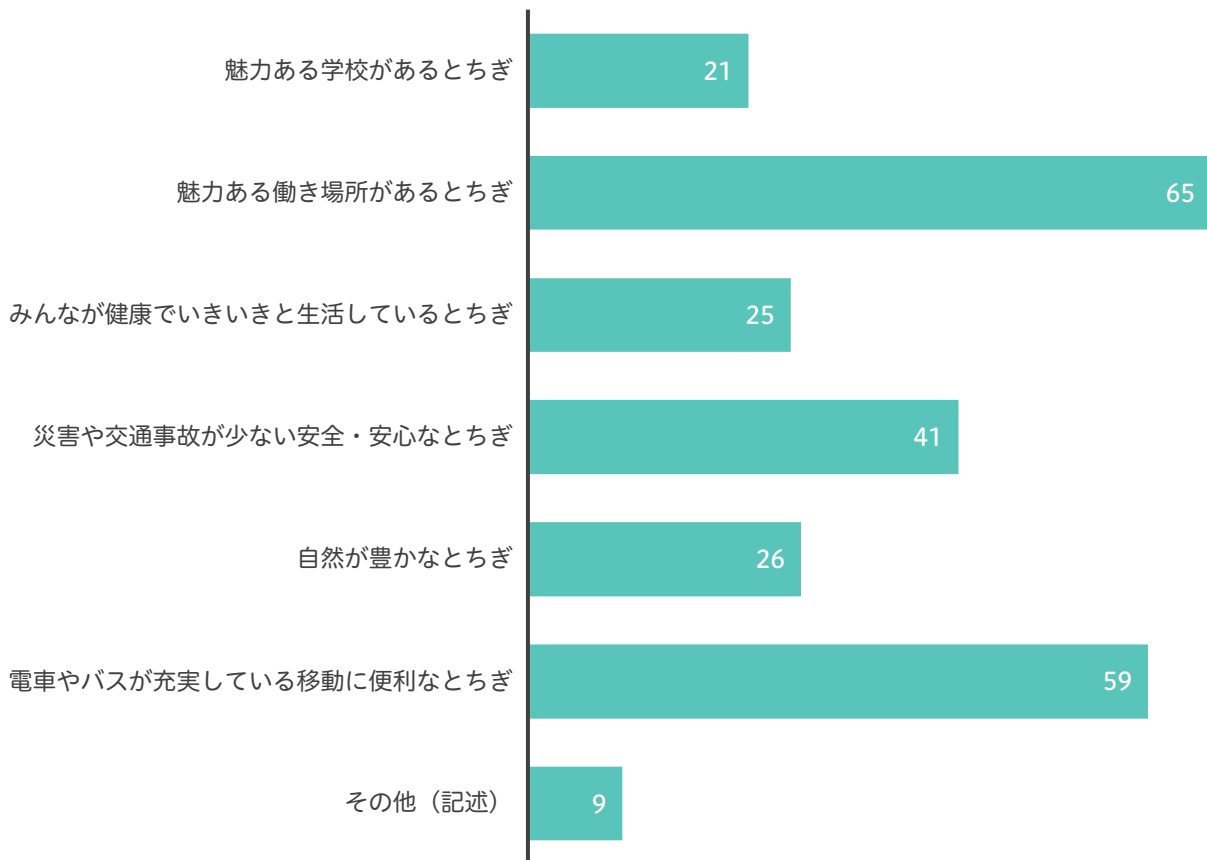
Q33.「Q31」で「住み続けたくない」と回答した方に聞きます。栃木県に住み続けたくない理由は何ですか。【2つまで選んでください】



【調査結果の概要】

「東京などの都会で生活したいから」（8件）で最も多く、以下に「希望する学校や働く場所がないから」（6件）、「買物する場所や移動手段などが不足しているから」（4件）と続いている。

Q34.今後、どんな栃木県であれば、住み続けたいと思いますか。【2つまで選んでください】



【調査結果の概要】

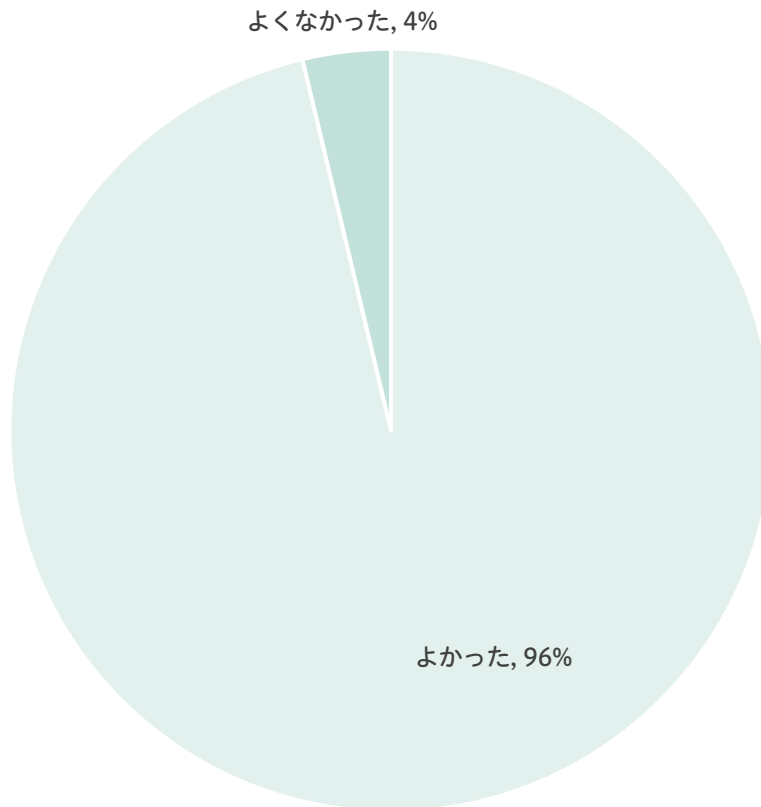
「魅力ある働き場所があるとき」（65 件）が最も多く、以下に「電車やバスが充実している移動に便利とき」（59 件）、「災害や交通事故が少ない安全・安心なとき」（41 件）、「自然が豊かなとき」（26 件）が続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 友達がいる栃木
- ・ いろいろな観光地がたくさんある
- ・ 魅力ある大学がある栃木
- ・ たくさん遊べる場所があれば住み続けたい
- ・ 若年層が県に残りたいと思えるような魅力が多数あるとき
- ・ 家賃が安い家やマンションがある。
- ・ 太陽光パネルで山を削らないで、自然を残してほしい。
- ・ 平和なとき
- ・ 空気が綺麗（自宅でゴミを燃やしている家が多いから空気が汚い）
- ・ 海がある栃木

こどもモニターの満足度についてのアンケート

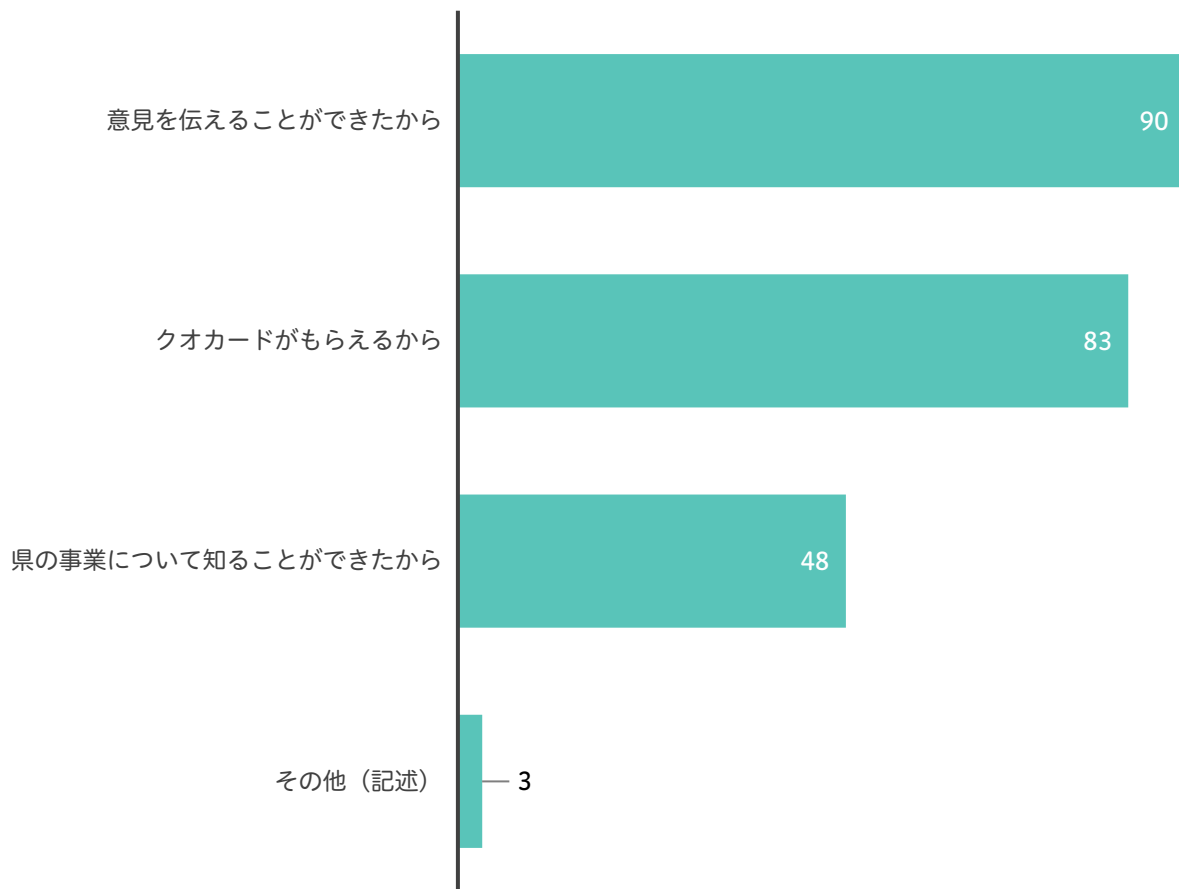
Q1.こどもモニターに参加して良かったと思いますか。



【調査結果の概要】

「良かった」が96%と大半を占めており、「よくなかった」が4%という結果となった。

Q2.「Q1」で、「よかった」を選んだ方に質問します。それはなぜですか。【いくつでも選んでください】



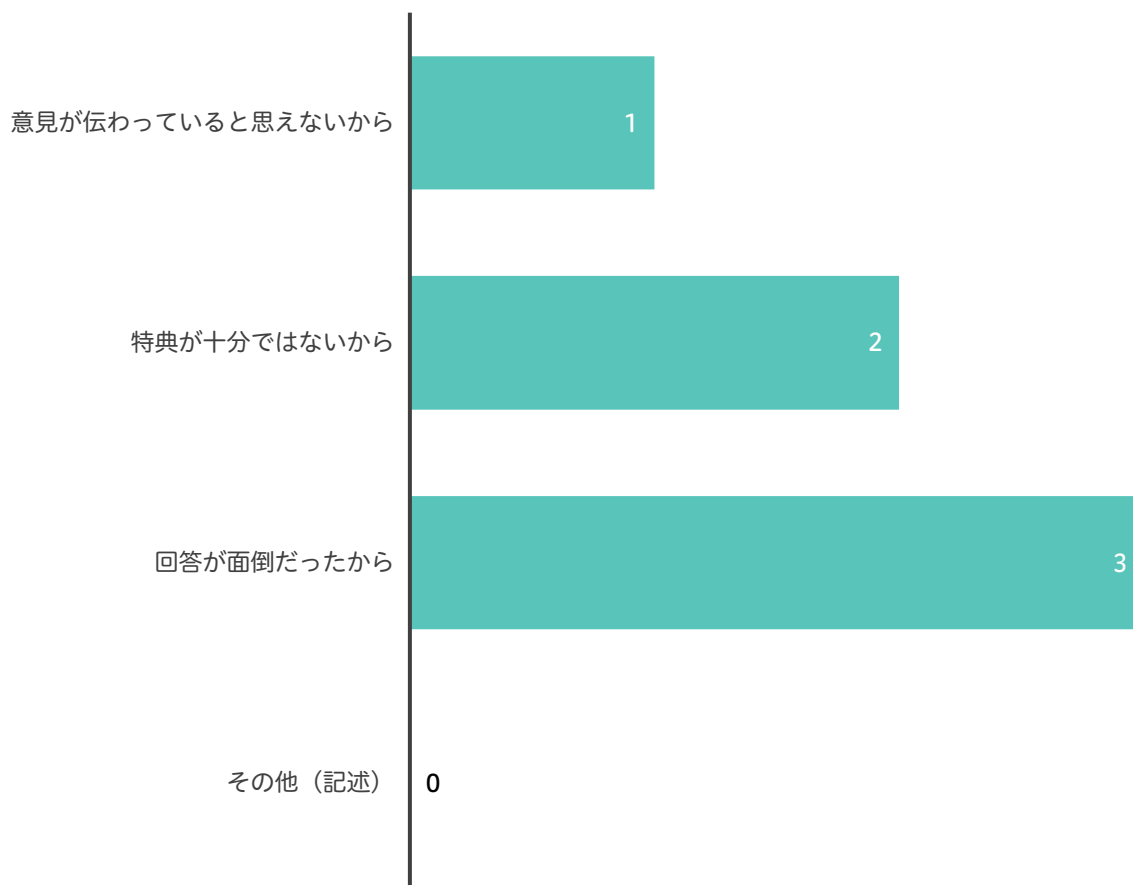
【調査結果の概要】

「意見を伝えることができたから」(90 件)が最も多く、以下に「クオカードがもらえるから」(83 件)、「県の事業について知ることができたから」(48 件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 知らない言葉の意味を知れたり、勉強になったことがたくさんありました。住んでいても知らなかったことが・たくさんあって、より栃木県の魅力を知ることができました。
- ・ 自分の考えを知るきっかけになった
- ・ 改めて、栃木県のことをしれたから。

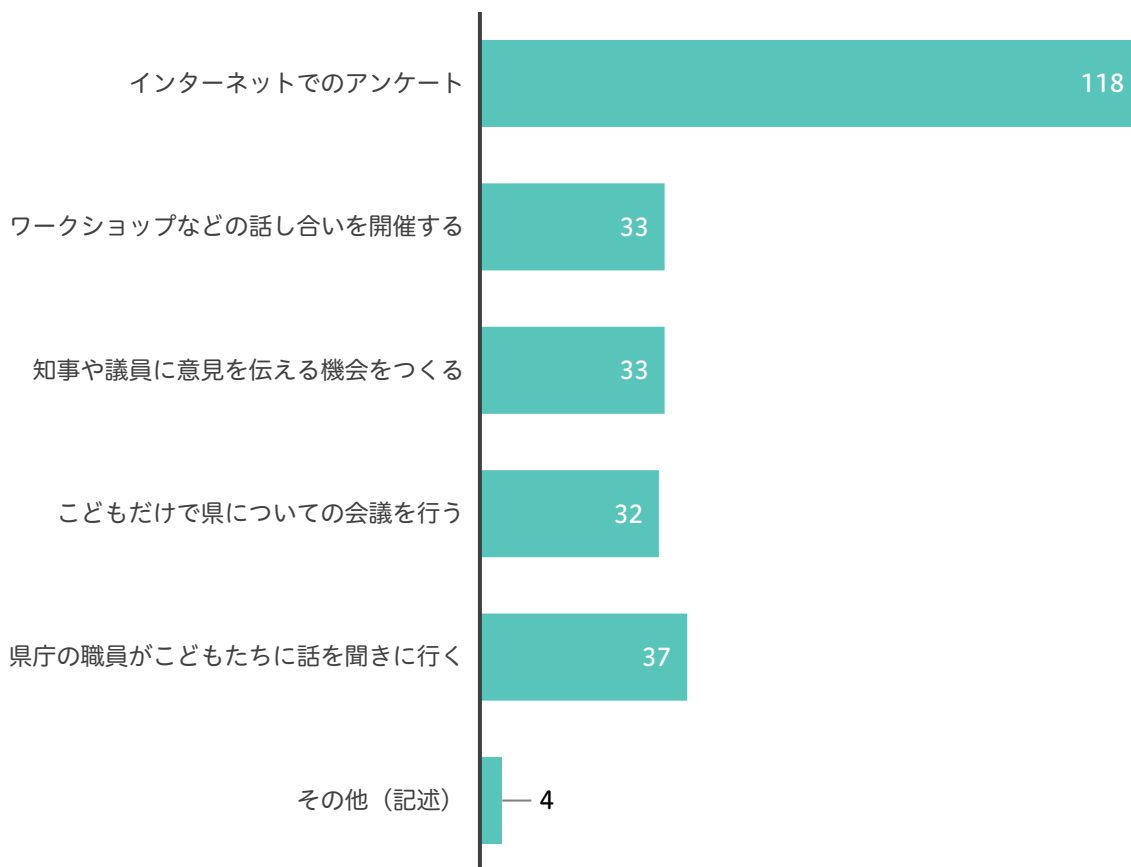
Q3.「Q1」で、「よくなかった」を選んだ方に質問します。それはなぜですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「回答が面倒だったから」（3件）が最も多く、以下に「特典が十分ではないから」（2件）、「意見が伝わっていると思えないから」（1件）と続いている。

Q4.子ども、若者、保護者から意見を聞く方法として、よいと思うものはどれですか。【3 つまで選んでください】



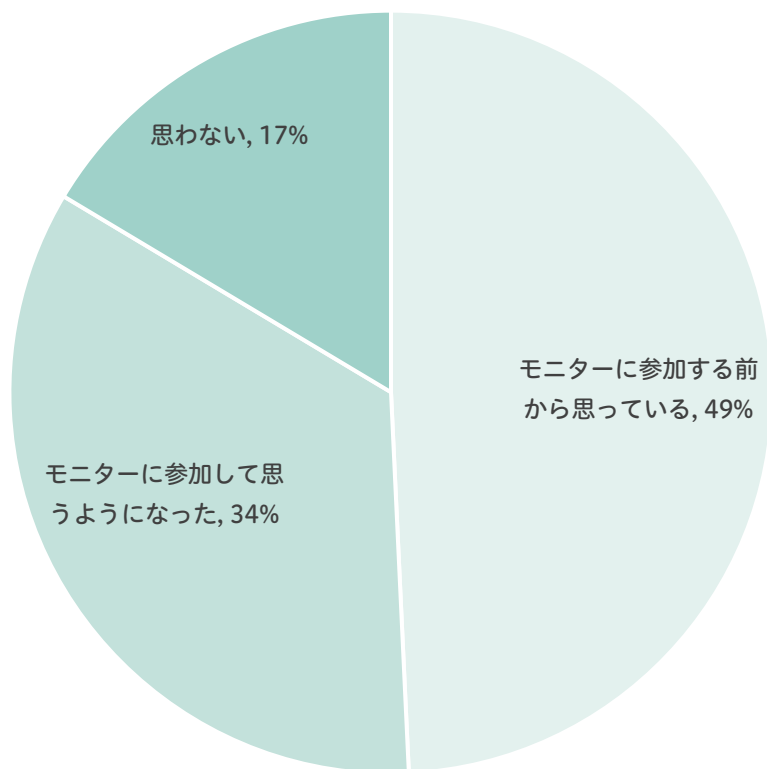
【調査結果の概要】

「インターネットでのアンケート」(118 件)が特に多く、次に「県庁の職員が子どもたちに話を聞きに行く」(37 件)が多く、「ワークショップなどの話し合いを開催する」(33 件)、「知事や議員に意見を伝える機会をつくる」(33 件)が同数で続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 学校でアンケートの案内を配る
- ・ 中学校や高校で栃木県知事や市長さんなどに意見したいことを募集したりして、それをまとめて学校単位で意見を出せると良いです。そういう係を作って年1でやると面白いかなと思いました。みんなの意見でより住みやすい栃木県になるといいです。
- ・ スマホでこのようなアンケートを送る。
- ・ 学校から子供や保護者の意見を聞く

Q5.「自分が社会の一員である」と思いますか。



【調査結果の概要】

「モニターに参加する前から思っている」(49%)が約半数を占めており、続いて「モニターに参加して思うようになった」(34%)、「思わない」(17%)という結果となった。